徳島県
図面管理表 Ver.1103 版
マニュアル
基本操作編

電子納品支援ソフトをお持ちの方用
＊図面管理表で XML ファイルを作成される方は、
使用方法が異なりますので、ご注意ください。

電子納品のスムーズな運用のために

図面管理表とは

電子納品では、図面ファイル名の付け方が決められています。例えば、C0PL0010.SFC というように、アルファベットと数字を規則に沿って組み合わせて、ファイル名を作成します。

電子納品の導入が始まったばかりの現段階では、このファイル名の作成規則を理解することや、このファイル名で図面データをやり取りすることに、発注者・受注者ともに難しさを感じています。

そこで、図面の電子納品をわかりやすくスムーズに行うための補助的ツールとして、図面管理表が導入されました。

図面管理表とは、

1, 図面名称
2, 図面番号
3, 図面ファイル名
4, 図面の使用・不使用
5, 図面の変更・追加・廃止

の５項目を分かりやすく表示したリストのことです。

図面管理表の目的

電子納品では、C0PL0010.SFC（変更前の図面）も、C0PL0011.SFC（変更後の図面）も同じ DRAWINGS（発注図）フォルダに納めます。

このようによく似た名前の図面ファイルが同じフォルダ内に並びますので、フォルダのなかを見ただけでは、今必要な図面がどのファイルなのかが、把握しにくい状態です。

そのため国の基準では、図面データのもくじとして、DRAWINGS.XML の作成が定められていますが、DRAWINGS.XML は、記載する情報も多いため、かなり長いリストとなり、ひとめで解るというわけではありません。

また、電子データですので、間違って同じファイル名で図面ファイルを作成すると、元のデータが上書きされてしまうといったトラブルが考えられます。そのほかに、現段階では発注者受注者共に英数字のファイル名に慣れていないため、変更図面のやり取りの段階で、図面ファイルが混乱することも予想されます。

そこで、

1, 図面ファイル名作成サポートを行う。
2, 変更時などの図面データの混乱を防止する。
3, 最新図面の把握を行う。

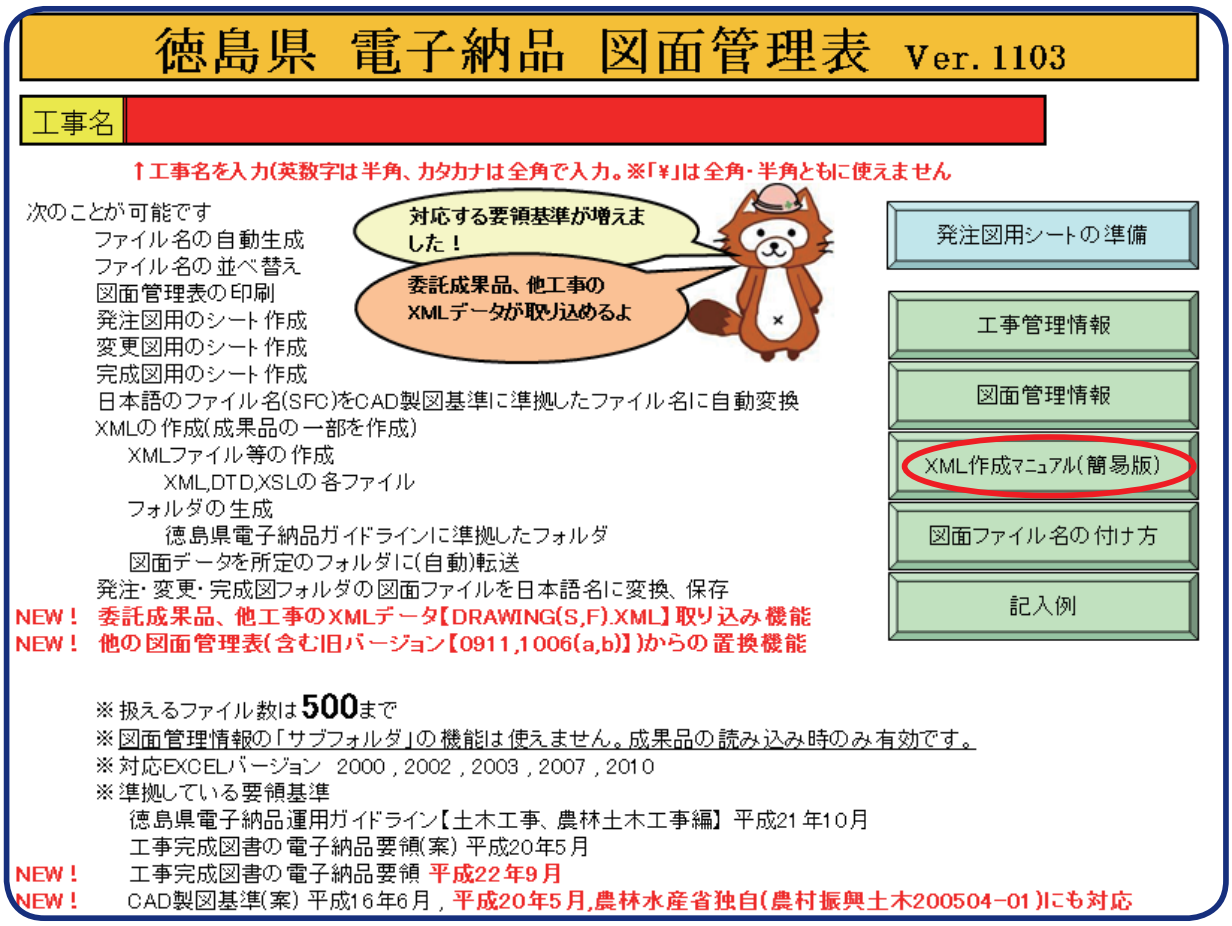
この３つを目的として、図面管理表を活用していきます。

図面管理表の XML 作成機能について

図面管理表の Ver.1006 からは、XML の作成機能が付加されました。Excel のマクロ機能を使用して、INDEX_C.XML,INDE_C04.DTD,DRAWEINGS.XML,DRAWINGF.XML,DRAW03.DTD, を作成することが出来ます。
また、Ver.1103 からは委託成果品・他工事の XML データ取り込み機能、他の図面管理表からの置換機能が出来き、対応する要領基準も増えました。

電子納品支援ソフトをすでにお持ちの方は、お手持ちのソフトで XML ファイルを作成できますので、このマニュアルでは説明を省きます。

このマニュアルには、図面管理表としての基本的な使用方法を記載してあります。XML 作成機能を使用されたい方は、図面管理表〈ＸＭＬ作成編〉及び図面管理表の START シートから【XML 作成マニュアル（簡易版)】のボタンをクリックして、シートを呼び出してください。



対応している Excel のバージョン

＊ Excel　2000
＊ Excel　XP（2002）
＊ Excel　2003
＊ Excel　2007
＊ Excel　2010　　に対応しています。

上記のバージョン以外では　エラーが出る可能性があります。

もくじ

Contents 目次

01　発注時の図面データと図面管理表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

02　発注時に提供される図面管理表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

03　図面管理表の作成（第１回設計変更時） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

04　図面管理表の作成（第２回設計変更時） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

05　図面管理表の作成（完成図面） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

06　図面管理表の各種機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

07　補足・Excel2007 マクロを有効にするには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０

08　補足・図面ファイル名の付け方〔CAD 製図基準（案）〕 ・・・・・・・・・・・・・３１

09　補足・図面ファイル名の付け方（徳島県独自ルール） ・・・・・・・・・・・・・・３２

10　よくある質問　Ｑ＆Ａ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３

添付資料１・電子納品のフォルダ及びファイル構成一覧表（標準型・簡易型） ・・・３５

添付資料２・図面ファイル名の付け方（一例） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７

添付資料３・工種別図面名一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８

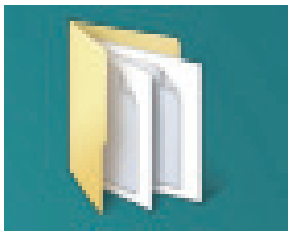
01 発注時の図面データと図面管理表

1　発注時のデータをウィルスチェックし、解凍する。

①発注時データが、圧縮されたファイルで提供される。

②ウィルスチェックを行う。

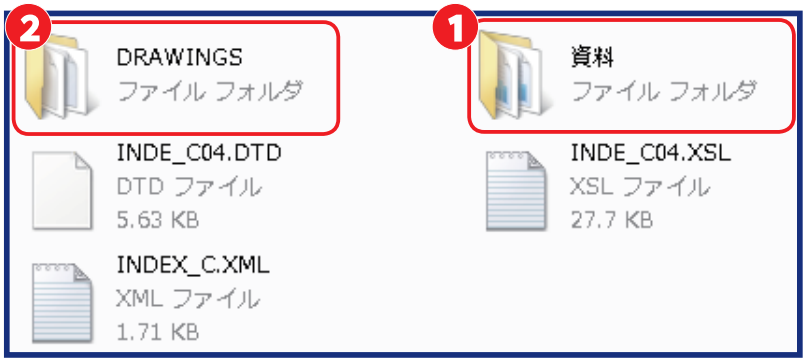
③圧縮ファイルを解凍し、フォルダの中身を確認する。

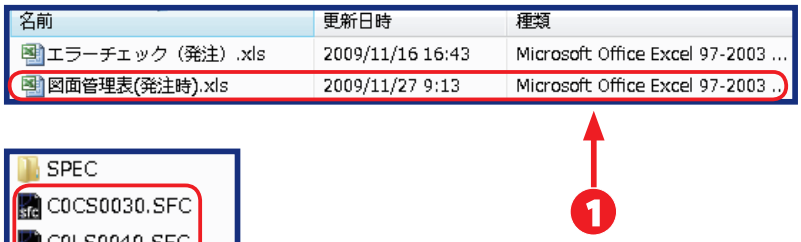


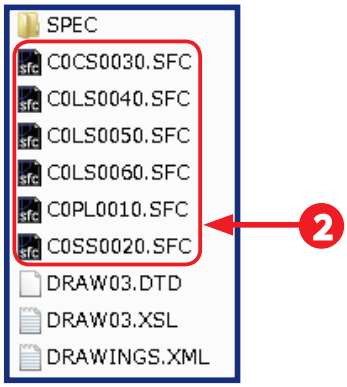
2　発注時のデータを確認する。

①資料フォルダの中の図面管理表を使用して、

② DRAWINGS フォルダのなかに、必要な図面データがそろっているかを確認する。







③徳島県電子納品チェッカーでエラーチェックを行い、結果を印刷する。

④ SXF ブラウザで図面の確認を行う。

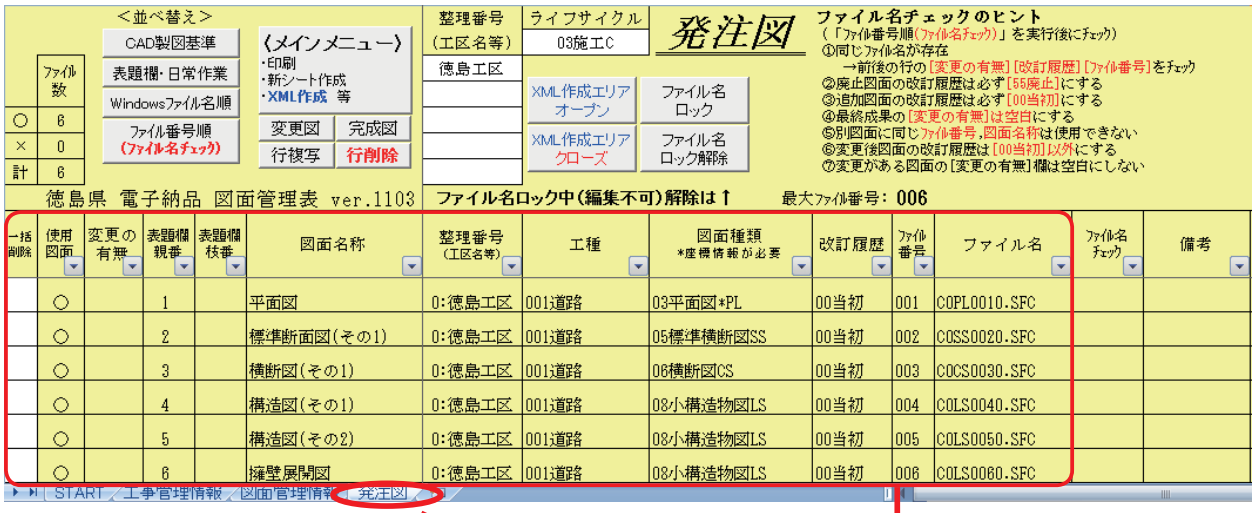
⑤着手前協議チェックシートに記入し、着手前協議の準備をする。

02 発注時に提供される図面管理表

1 発注時の図面管理表

①図面管理表は、発注時のデータの【資料フォルダ】に入れられて、提供される。

② DRAWINGS フォルダに入れられている発注図面のデータが合っているか、確認を行う。

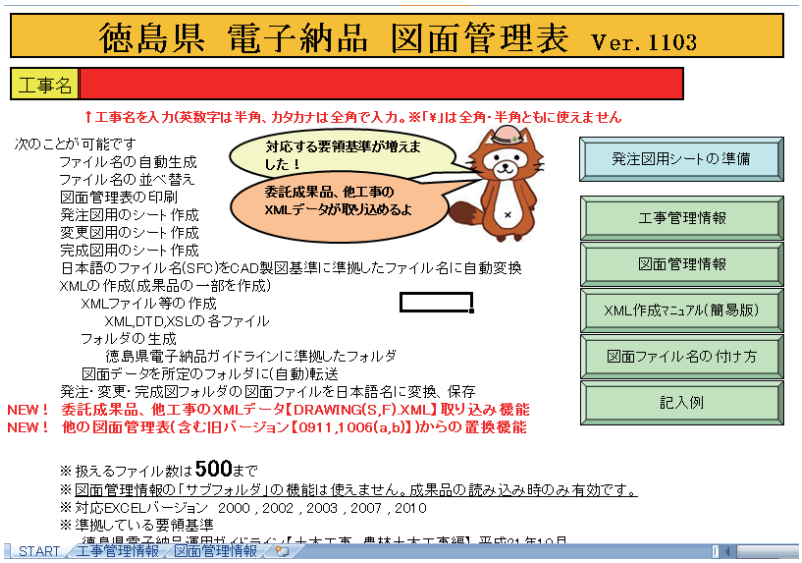


一括削除	使用図面	変更の有無	表題欄親番	表題欄枝番	図面名称	整理番号（工区名等）	工種	図面種類 *座標情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名	ファイル名チェック	備考
	○		1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	00当初	001	COPL0010.SFC		
	○		2		標準断面図(その1)	0:徳島工区	001道路	05標準横断図SS	00当初	002	COSS0020.SFC		
	○		3		横断図(その1)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	003	COCS0030.SFC		
	○		4		構造図(その1)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	004	COLS0040.SFC		
	○		5		構造図(その2)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	005	COLS0050.SFC		
	○		6		擁壁展開図	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	006	COLS0060.SFC		

参考　図面管理表の基本的な作成方法（発注者　作業）

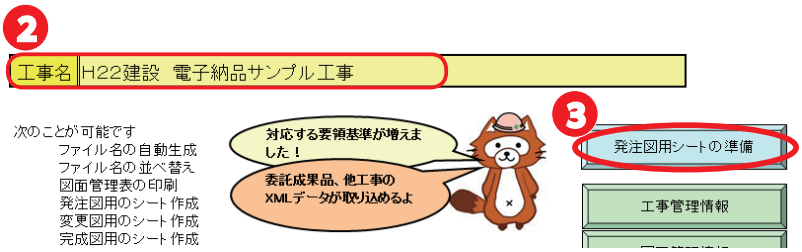
①図面管理表を立ち上げる。
★マクロは【有効にする】を選択する。Excel2007 の場合のマクロの設定は 【07 補足・マクロを有効にする】をご覧ください。

★ Excel2007 は初期設定でマクロが使用出来なくなっていますので、ファイルを立ち上げたら、まずマクロを有効にしなければ、図面管理表は正常に機能しません。

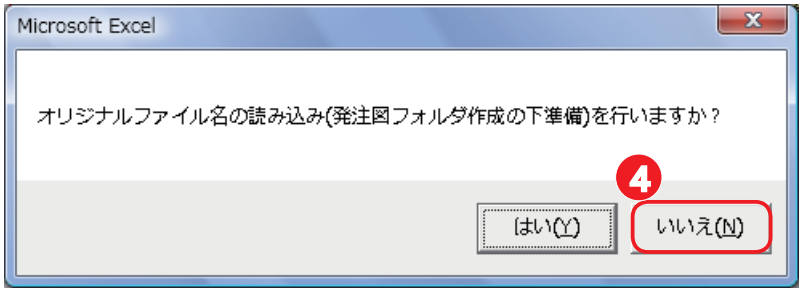


②【工事名】の欄に記載する。赤い欄が薄いオレンジに変化する。

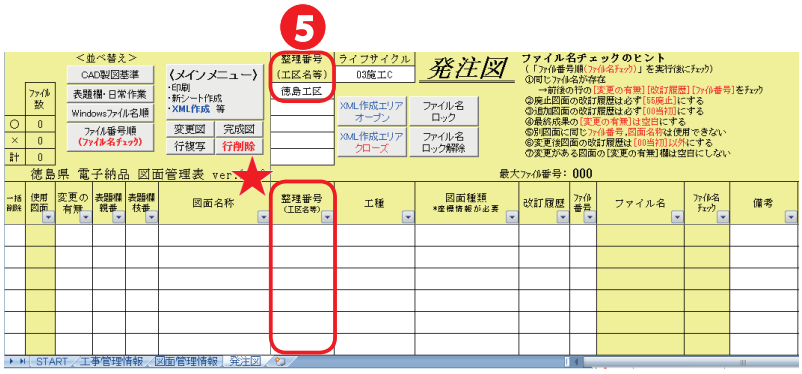
③【発注図用シートの準備】ボタンをクリックする。



④【オリジナルファイル名の読み込み（発注図フォルダ作成の下準備）を行いますか？】というメッセージ画面が表示される。
【いいえ】ボタンをクリックする。
★【はい】ボタンは XML 作成時に使用します。詳細はマニュアル〈XML 作成編〉をご覧ください。



⑤【整理番号（工区名等）】の欄に記載する。
★上の欄に記載すると、リスト内の【整理番号（工区名等）】の欄に反映されます。



⑥図面管理表の【図面名称】の欄に記載する。

一括削除	使用図面	変更の有無	表題欄親番	表題欄枝番	図面名称	整理番号(工区名等)	工種	図面種類 *座標情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名
					平面図						
					標準断面図(その1)						
					横断図(その1)						
					構造図(その1)						
					構造図(その2)						
					擁壁展開図						

⑦【表題欄親番】の欄を記載する。

⑧【整理番号】の欄を記載する。

⑨【工種】の欄を記載する。

⑩【図面種類】を記載する。
★展開図の図面種類は、
小構造物図 LS
等を選択する。

⑪【改訂履歴】の欄を記載する。

⑫【ファイル番号】の欄を記載する。
★発注時のファイル番号は、表題欄の図面番号と同一の番号を 3 桁で使用する。
例）　表題欄親番　　1
　　ファイル番号　001

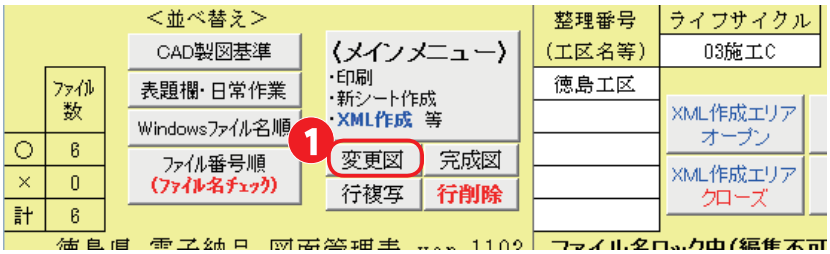
一括削除	使用図面	変更の有無	表題欄親番	表題欄枝番	図面名称	整理番号(工区名等)	工種	図面種類 *座標情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名
	○		1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	00当初	001	COPL0010.SFC
	○		2		標準断面図(その1)	0:徳島工区	001道路	05標準横断図SS	00当初	002	COSS0020.SFC
	○		3		横断図(その1)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	003	COCS0030.SFC
	○		4		構造図(その1)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	004	COLS0040.SFC
	○		5		構造図(その2)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	005	COLS0050.SFC
	○		6		擁壁展開図	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	006	COLS0060.SFC

03 図面管理表の作成（第1回設計変更時）

1　シートの準備をする

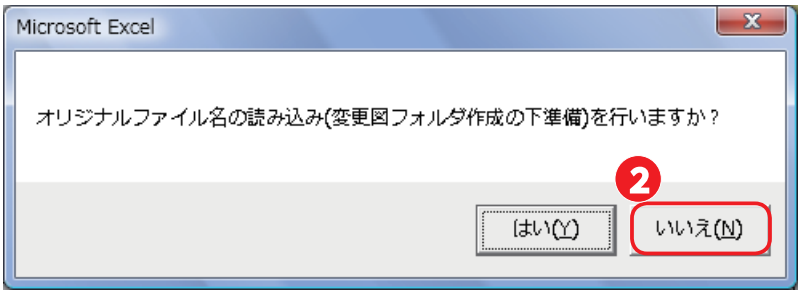
①発注図用のシートで【変更図】ボタンをクリックする。

★マクロは【有効にする】を選択する。Excel2007 の場合のマクロの設定は 【07 補足・マクロを有効にする】をご覧ください。



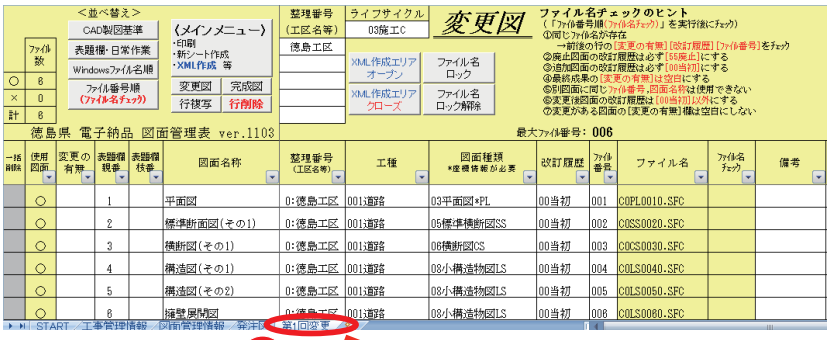
②【オリジナルファイル名の読み込み（変更図フォルダ作成の下準備）をおこないますか？】というメッセージ画面が表示される。
【いいえ】ボタンをクリックする。

★【はい】ボタンは XML 作成時に使用します。詳細はマニュアル〈XML 作成編〉をご覧ください。



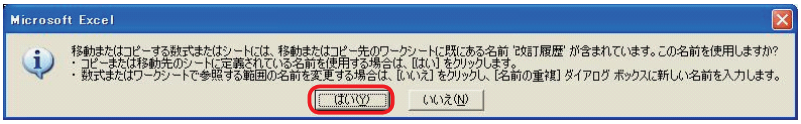
③発注図用のシートが自動で複製される。
シートのタブが【第１回変更】になっていることを確認する。

★【工事管理項目】【図面管理項目】のシートは XML 作成機能で使用します。



参考　Excel2000
　　Excel2003 の場合

★ Excel2000 Excel2003 をご使用の場合、このような警告ダイアログボックスが出る場合があります。このときは【はい】を選択して下さい。



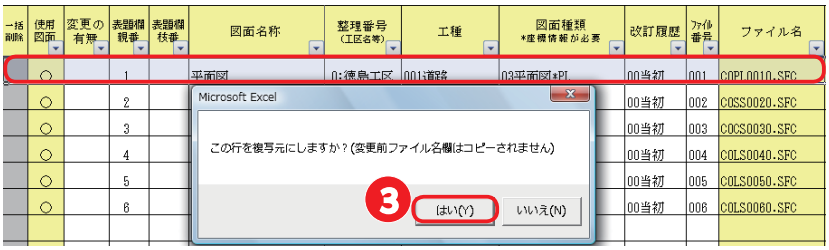
変更図面

例１　図面番号１番の平面図を変更する

①１番平面図の行のどこかのセルをクリックする。

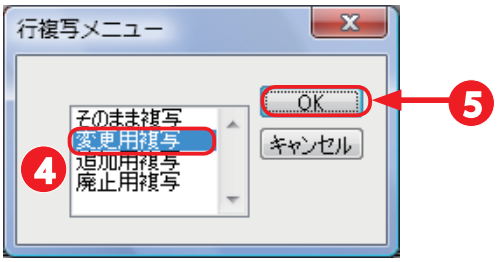
②【行複写】のボタンをクリックする。

③複写元の行が選択され、確認メッセージが表示される。選択された行を確認して、【はい】をクリックする。

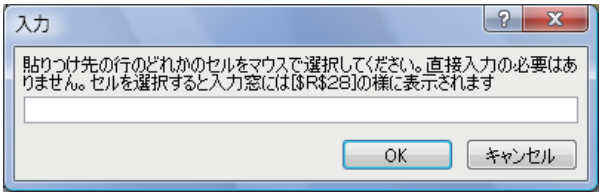


④【行複写メニュー】の画面が開くので、メニューの中から【変更用複写】を選択する。

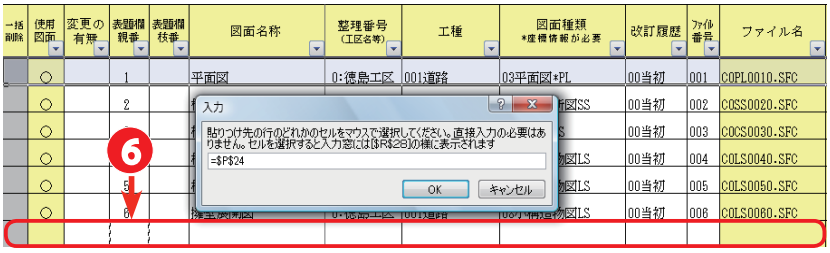
⑤【OK】ボタンをクリックする。



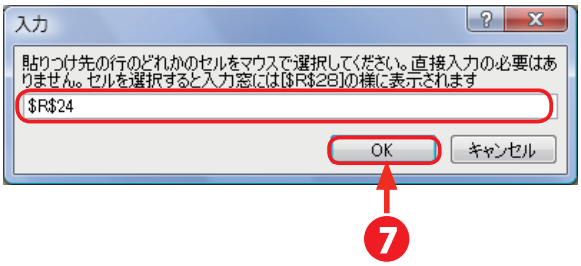
⑥【入力】画面が開く。



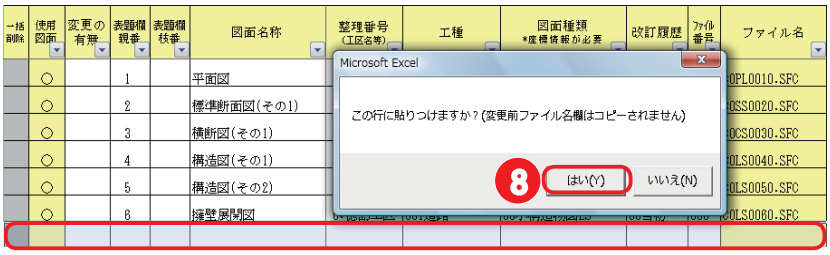
⑥貼り付け先の行のどれかのセルを選択する。



⑦セルの番号が表示されたら【OK】ボタンをクリックする。



⑧貼り付け先の行が選択され、確認メッセージが表示される。
【はい】ボタンをクリックする。



⑨行の複写と、変更前・変更後の処理が自動で行われる。

参考　　変更のファイル名

★例）C0PL0010.SFC(変更前）
＋
C0PL0011.SFC(変更後）

変更は、変更前のファイルと変更後のファイルの２つのファイルを DRAWINGS フォルダに納めて変更とする。
変更後のファイル名の改訂履歴を表す末尾番号は、変更１回なら、１に変化する。

★改訂履歴はその図面の変更回数を表す。
〔例〕第２回設計変更で初めて変更を行う図面は、改訂履歴が１になることに注意する。

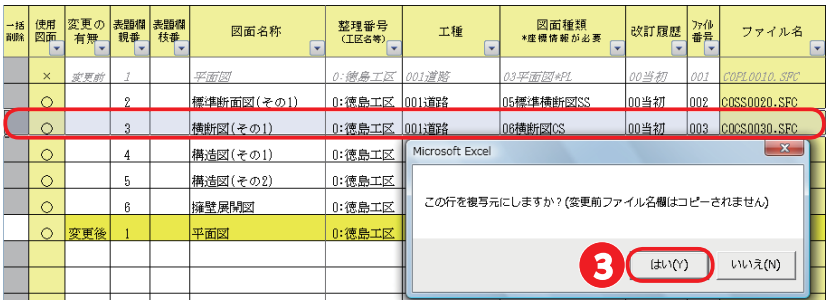
★詳しくは　添付資料２をご覧下さい。

例２　横断図（その２を追加する。）

①追加する図面と同じ種類の横断図の行のどこかのセルを選択する。

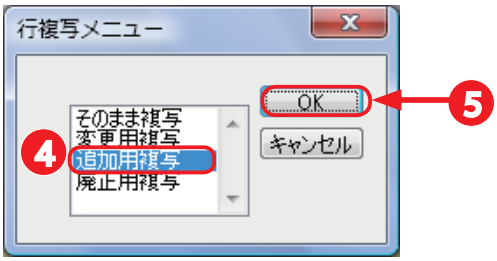
②【行複写】のボタンをクリックする。

③複写元の行が選択され、確認メッセージが表示される。選択された行を確認して、【はい】をクリックする。

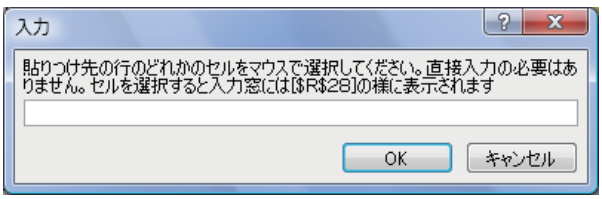


④【行複写メニュー】の画面が開くので、メニューの中から【追加用複写】を選択する。

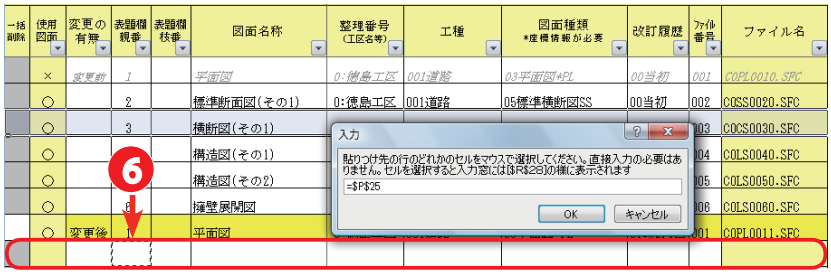
⑤【OK】ボタンをクリックする。



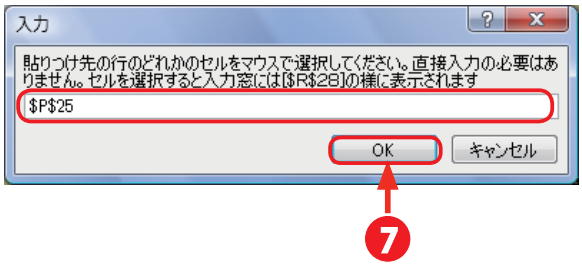
⑥【入力】画面が開く。



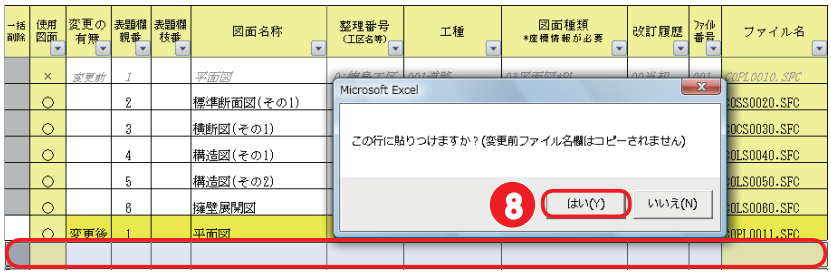
⑥貼り付け先の行のどれかのセルを選択する。



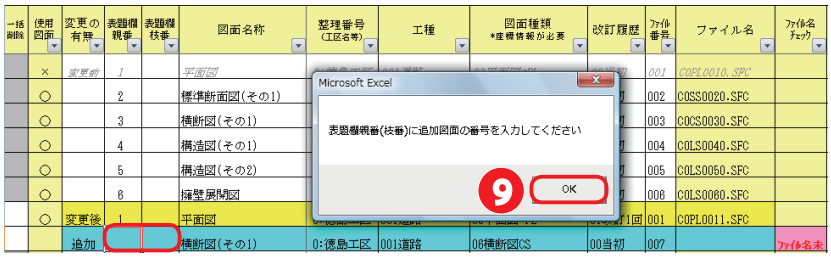
⑦セルの番号が表示されたら【OK】ボタンをクリックする。



⑧貼り付け先の行が選択され、確認メッセージが表示される。
【はい】ボタンをクリックする。



⑨【表題欄親番（枝番）に追加図面の番号を入力してください】というメッセージ画面が表示される。
【OK】ボタンをクリックする。



追加図面

⑩表題欄親番（枝番）に追加図面の番号を記載する。ファイル名が自動で作成される。

⑪図面名称を、正しい名称に直す。

一括削除	使用図面	変更の有無	表題欄親番	表題欄枝番	図面名称	整理番号(工区名等)	工種	図面種類 *座標情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名
	×	変更前	1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	00当初	001	C0PL0010.SFC
	○		2		標準断面図(その1)	0:徳島工区	001道路	05標準横断図SS	00当初	002	C0SS0020.SFC
	○		3		横断図(その1)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	003	C0CS0030.SFC
	○		4		構造図(その1)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	004	C0LS0040.SFC
	○		5		構造図(その2)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	005	C0LS0050.SFC
	○		6		擁壁展開図	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	006	C0LS0060.SFC
	○	変更後	1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	01改訂1回	001	C0PL0011.SFC
	○	追加	3	1	横断図(その2)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	007	C0CS0070.SFC

⑩ ⑪

参考　　追加のファイル名

★追加の場合、徳島県独自ルールとして、表題欄の番号には、枝番を使用する。
ファイル番号に枝番を使用することは出来ないので、ファイル番号は既存の番号の末尾に追加した番号を使用する。

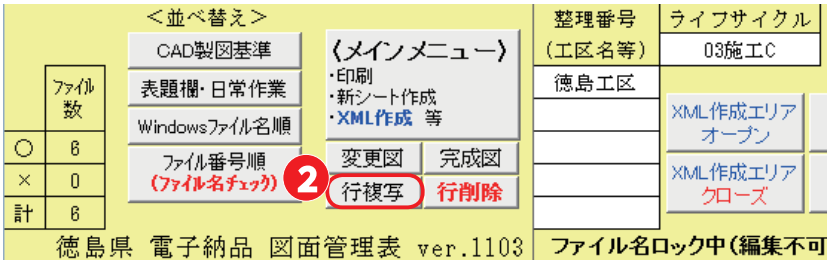
★詳しくは　添付資料 2 をご覧下さい。

例３　構造図（その２を廃止する。）

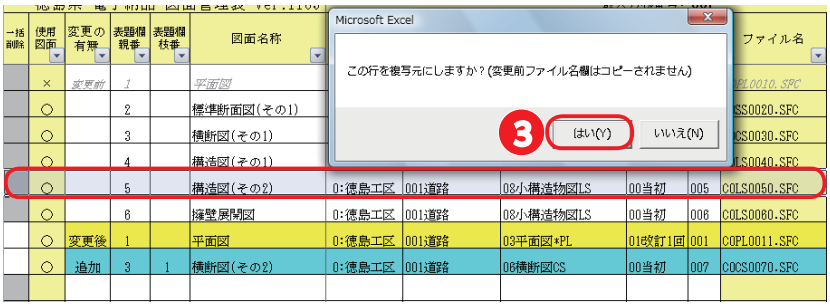
① 5 番構造図（その 2）の行のどこかのセルを選択する。

② 【行複写】のボタンをクリックする。

★廃止図面でも、削除の操作を行わないことに注意！

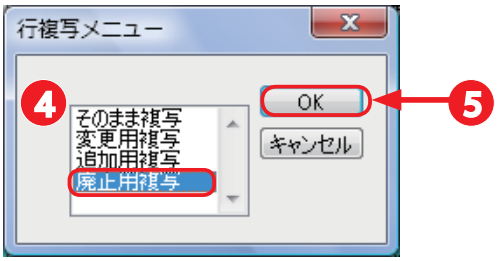


③複写元の行が選択され、確認メッセージが表示される。選択された行を確認して、【はい】をクリックする。

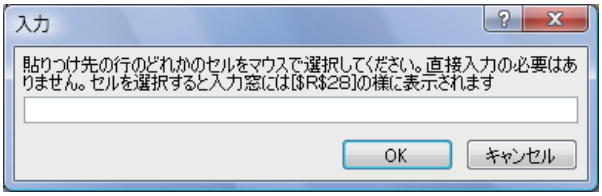


④【行複写メニュー】の画面が開くので、メニューの中から【廃止用複写】を選択する。

⑤【OK】ボタンをクリックする。

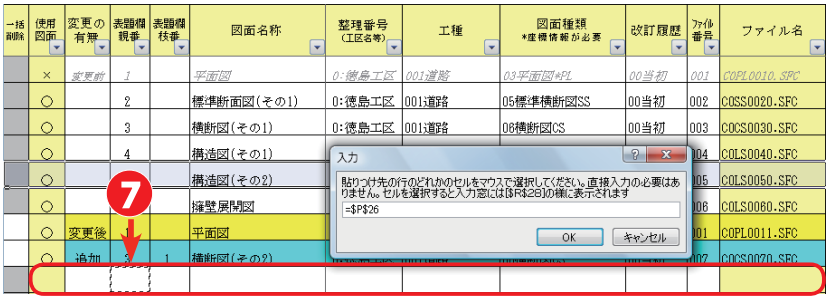


⑥【入力】画面が開く。

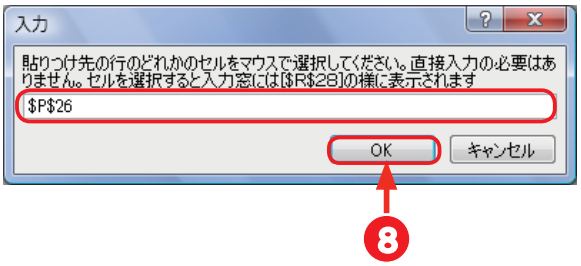


廃止図面

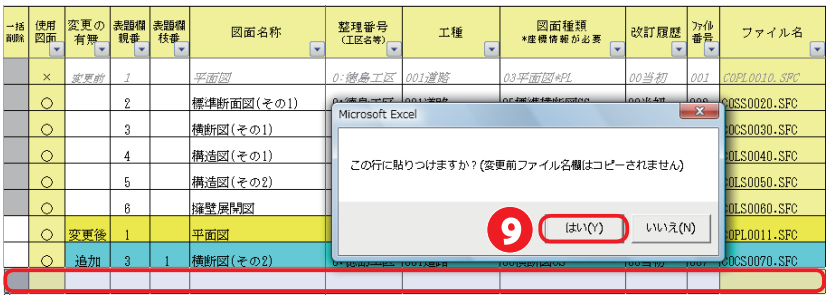
⑦貼り付け先の行のどれかのセルを選択する。



⑧セルの番号が表示されたら【OK】ボタンをクリックする。



⑨貼り付け先の行が選択され、確認メッセージが表示される。
【はい】ボタンをクリックする。



⑩自動で廃止図面のファイル名が作成される。

参考　　廃止のファイル名
★例）C0LS0050.SFC(変更前）
＋　　C0LS005Z.SFC(廃止）

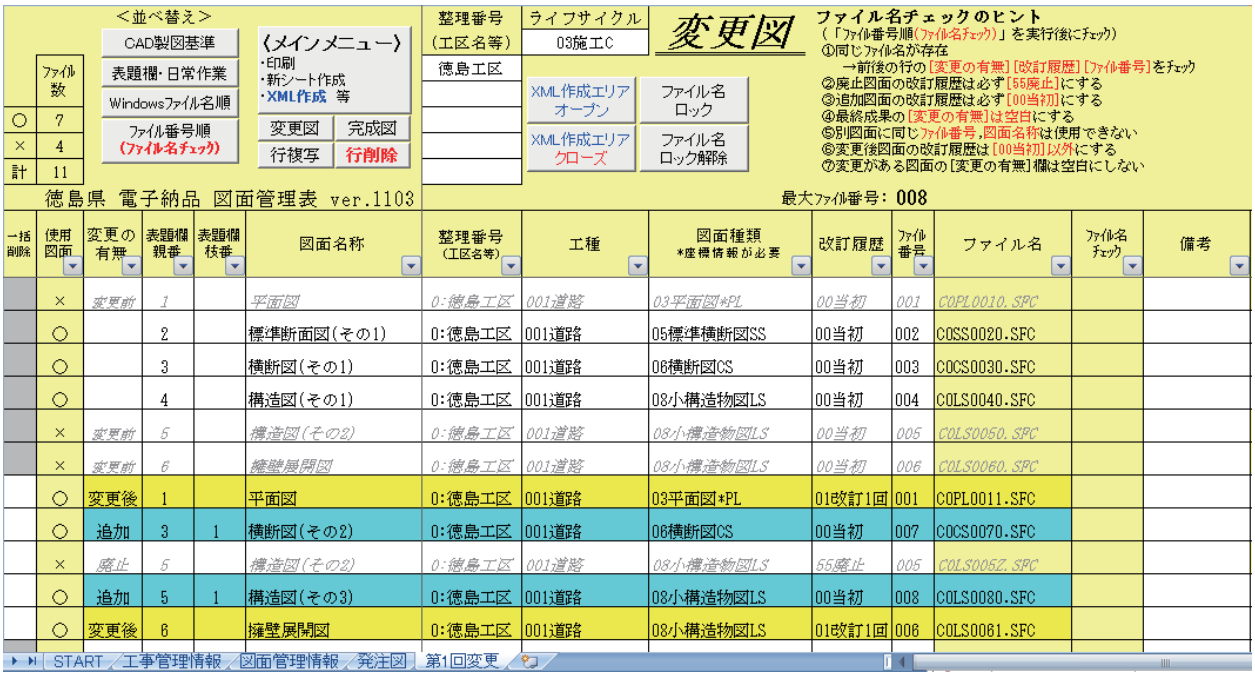
廃止は、変更前のファイルと廃止のファイルの 2 つのファイルを DRAWINGS フォルダに納めて廃止とする。
廃止のファイル名の改訂履歴を表す末尾番号は、Z に変化する。

★詳しくは　添付資料 2 をご覧下さい。

発注時の図面管理表

一括削除	使用図面	変更の有無	表題欄親番	表題欄枝番	図面名称	整理番号（工区名等）	工種	図面種類 *座標情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名
	○		1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	00当初	001	COPL0010.SFC
	○		2		標準断面図(その1)	0:徳島工区	001道路	05標準横断図SS	00当初	002	COSS0020.SFC
	○		3		横断図(その1)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	003	COCS0030.SFC
	○		4		構造図(その1)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	004	COLS0040.SFC
	○		5		構造図(その2)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	005	COLS0050.SFC
	○		6		擁壁展開図	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	006	COLS0060.SFC

第１回設計変更時の図面管理表



一括削除	使用図面	変更の有無	表題欄親番	表題欄枝番	図面名称	整理番号（工区名等）	工種	図面種類 *座標情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名	ファイル名チェック	備考
	×	変更前	1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	00当初	001	COPL0010.SFC		
	○		2		標準断面図(その1)	0:徳島工区	001道路	05標準横断図SS	00当初	002	COSS0020.SFC		
	○		3		横断図(その1)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	003	COCS0030.SFC		
	○		4		構造図(その1)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	004	COLS0040.SFC		
	×	変更前	5		構造図(その2)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	005	COLS0050.SFC		
	×	変更前	6		擁壁展開図	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	006	COLS0060.SFC		
	○	変更後	1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	01改訂1回	001	COPL0011.SFC		
	○	追加	3	1	横断図(その2)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	007	COCS0070.SFC		
	×	廃止	5		構造図(その2)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	55廃止	005	COLS005Z.SFC		
	○	追加	5	1	構造図(その3)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	008	COLS0080.SFC		
	○	変更後	6		擁壁展開図	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	01改訂1回	006	COLS0061.SFC		

第１回設計変更時の図面管理表には、この設計変更で新しくなった変更後や追加の図面の行の色が青や黄色に設定され、ひとめでわかるようになっています。

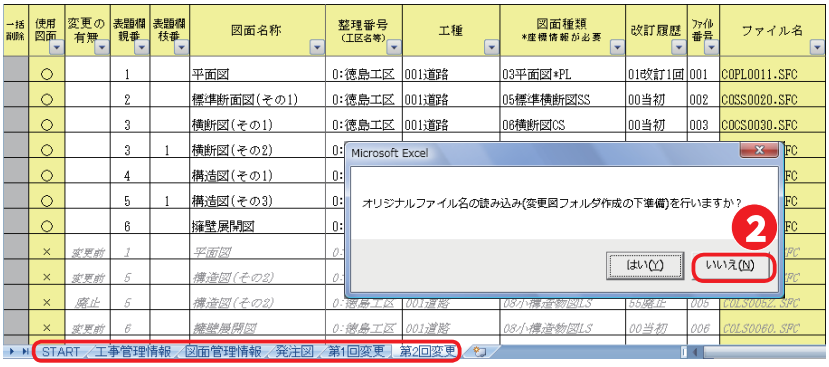
また、受注者はどのような並びで提出しても良いことになっていますが、左上の並べ替えボタンを使用することで使いやすい並びに変えることができます。例えば、 並べ替え【表題欄・日常作業】ボタンをクリックすると、変更前や廃止など使用しない図面が下にまとまって並びますので、より最新図面の把握が行いやすくなります。

04 図面管理表の作成（第２回設計変更時）

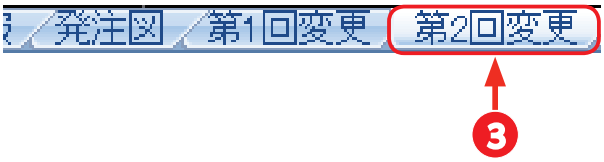
1　シートの準備をする

①第１回変更用のシートで【変更図】ボタンをクリックする。
★発注図用シートではなく、第１回変更用のシートでこの作業を行って下さい。

②【オリジナルファイル名の読み込み（変更図フォルダ作成の下準備）を行いますか？】というメッセージ画面が表示される。
【いいえ】ボタンをクリックする。
★【はい】ボタンは XML 作成時に使用します。詳細はマニュアル〈XML 作成編〉をご覧ください。



③第１回変更用のシートが自動で複製され、シートのタブが【第２回変更】になっていることを確認する。
★【変更の有無】の欄の【追加】と【変更後】の記載が消えて、変更後や追加の行の色が元にもどる。



2　変更・追加・廃止の記載をする

①第１回設計変更時と同じように変更・追加・廃止の記載を行っていく。

一括削除	使用図面	変更の有無	表題欄親番	表題欄枝番	図面名称	整理番号（工区名等）	工種	図面種類 *産機情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名
	×	変更前	1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	01改訂1回	001	COPL0011.SFC
	○		2		標準断面図(その1)	0:徳島工区	001道路	05標準横断図SS	00当初	002	COSS0020.SFC
	×	変更前	3		横断図(その1)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	003	COCS0030.SFC
	○		3	1	横断図(その2)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	007	COCS0070.SFC
	○		4		構造図(その1)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	004	COLS0040.SFC
	○		5	1	構造図(その3)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	008	COLS0080.SFC
	○		6		擁壁展開図	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	01改訂1回	006	COLS0061.SFC
	×	変更前	1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	00当初	001	COPL0010.SFC
	×	変更前	5		構造図(その2)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	005	COLS0050.SFC
	×	廃止	5		構造図(その2)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	55廃止	005	COLS0052.SFC
	×	変更前	6		擁壁展開図	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	006	COLS0060.SFC
	○	変更後	1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	02改訂2回	001	COPL0012.SFC
	○	変更後	3		横断図(その1)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	01改訂1回	003	COCS0031.SFC

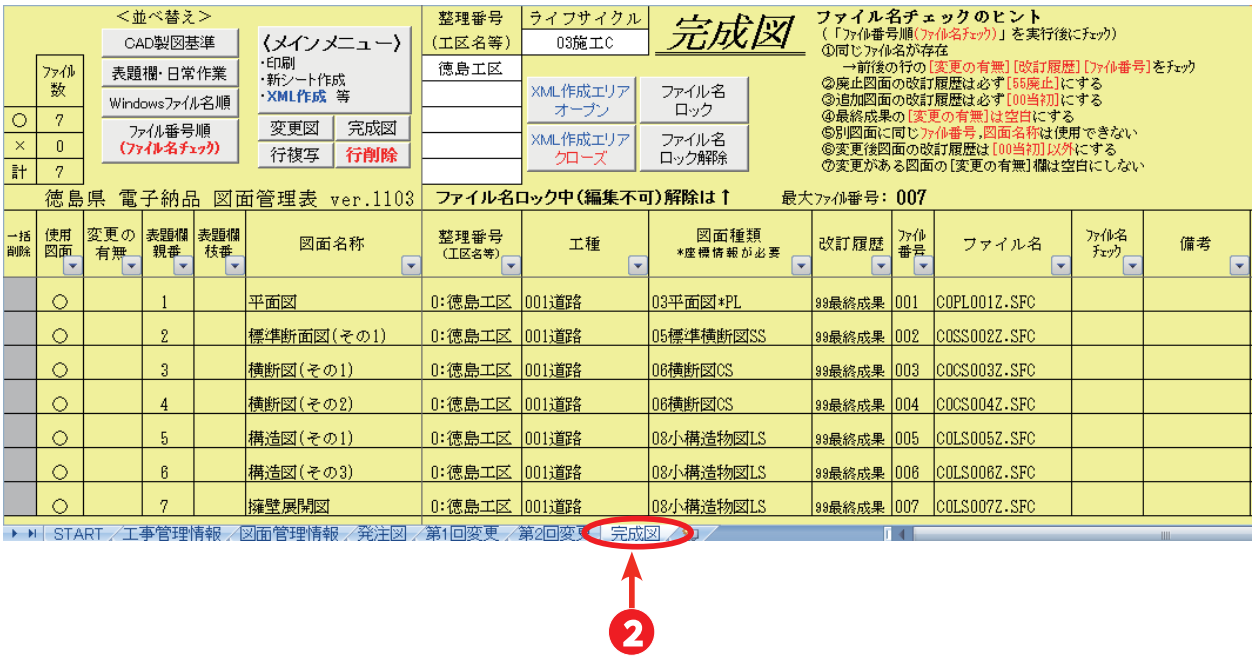
参考　　行の色について
★【変更の有無】の欄に記載があることで、変更後図面の行は黄色く、追加図面の行は青くなる。
第２回設計変更のシートを作成すると前回の設計変更で変化していた行の色は元に戻り、今回の設計変更の追加や変更図面を把握しやすい。

05 図面管理表の作成（完成図面）

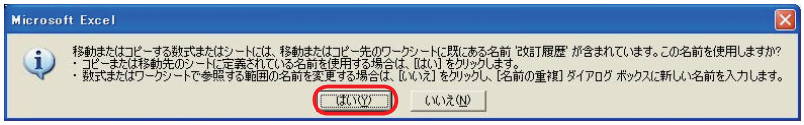
1　シートの準備をする

①最終設計変更用のシートで【完成図】ボタンをクリックする。
★最終設計変更のシートでこの作業を行って下さい。

②完成図面の管理表のシートが自動で複製される。
★変更の有無の欄の記載が消えて、変更後や追加の行の色が元にもどる。



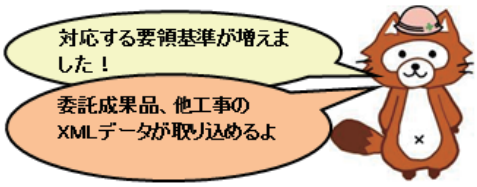
参考　　Excel2000
　　Excel2003 の場合
★ Excel2000 Excel2003 をご使用の場合、このような警告ダイアログボックスが出る場合があります。このときは【はい】を選択して下さい。



06 図面管理表の各種機能

図面管理表の機能

次のことが可能です
- ❶ファイル名の自動生成
- ❷ファイル名の並べ替え
- ❸図面管理表の印刷
- ★発注図用のシート作成
- ❹変更図用のシート作成
- ❺完成図用のシート作成



※ 日本語のファイル名(SFC)をCAD製図基準に準拠したファイル名に自動変換
XMLの作成(成果品の一部を作成)
XMLファイル等の作成
XML,DTD,XSLの各ファイル
フォルダの生成
徳島県電子納品ガイドラインに準拠したフォルダ
図面データを所定のフォルダに(自動)転送
発注・変更・完成図フォルダの図面ファイルを日本語名に変換、保存
NEW！ 委託成果品、他工事のXMLデータ【DRAWING(S,F).XML】取り込み機能
NEW！ 他の図面管理表(含む旧バージョン【0911,1006(a,b)】)からの置換機能

★ 発注図用シートの準備

※ 工事管理情報
図面管理情報

※ XML作成マニュアル(簡易版)

❻ 図面ファイル名の付け方

❼ 記入例

★ 発注図作成の為の機能です。

※ XML ファイルを作成する為の機能ですので、【XML 作成マニュアル】をご覧下さい。

① ファイル名の自動生成

整理番号などを順番に選択していくと、CAD 製図基準 (案) に沿ったファイル名が自動で生成されます。

①整理番号等を順番に選択していく。

❶

表題欄親番	表題欄枝番	図面名称	整理番号(工区名等)	工種	図面種類 *座標情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名
1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL			
2		標準断面図(その1)	0:徳島工区	001道路	05標準横断図SS			
3		横断図(その1)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS			
4		構造図(その1)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS			
5		構造図(その2)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS			
6		擁壁展開図	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS			

② CAD 製図基準 (案) に沿ったファイル名が自動で生成される。

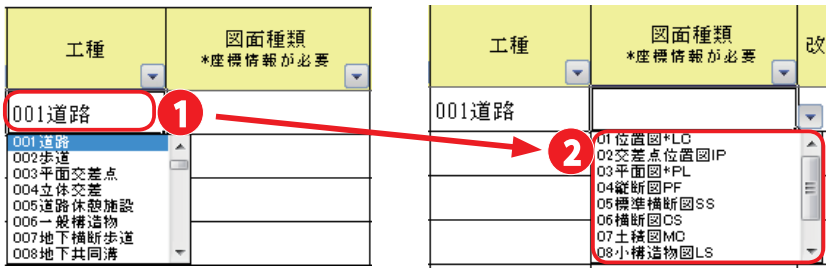
❷

表題欄親番	表題欄枝番	図面名称	整理番号(工区名等)	工種	図面種類 *座標情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名
1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	00当初	001	C0PL0010.SFC
2		標準断面図(その1)	0:徳島工区	001道路	05標準横断図SS	00当初	002	C0SS0020.SFC
3		横断図(その1)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	003	C0CS0030.SFC
4		構造図(その1)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	004	C0LS0040.SFC
5		構造図(その2)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	005	C0LS0050.SFC
6		擁壁展開図	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	006	C0LS0060.SFC

参考　工種と図面種類について

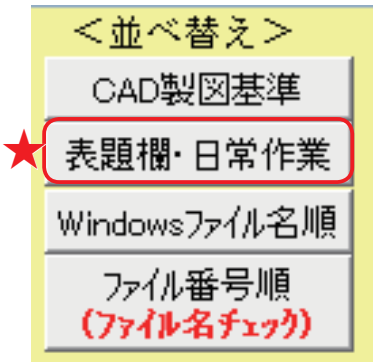
①工種を選択する。

②選択した工種に沿った図面種類がリストボックスに並ぶ。



参考　最新図面の把握　変更追加図面の把握

並べ替え（表題欄・日常作業用）ボタンをおすと、使用しない図面（変更前 / 廃止など）が下にまとまって並ぶので、最新図面の把握が簡単に出来ます。
また、変更後や追加などの最新図面は行の色が変化して目立つように設定されています。



①変更図面の行は黄色く変化する。

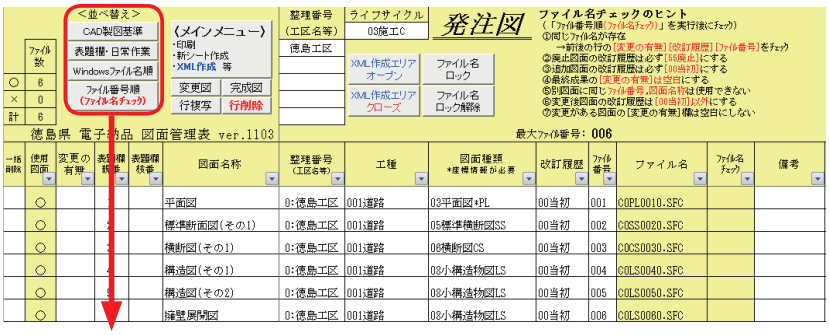
②追加図面の行は青く変化する。

③変更前と廃止の図面は、行の文字の色が薄い斜体に変化する。

一括削除	使用図面	変更の有無	表題欄親番	表題欄枝番	図面名称	整理番号(工区名等)	工種	図面種類 *座標情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名
		変更後	1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	01改訂1回	001	C0PL0011.SFC
	○		2		標準断面図(その1)	0:徳島工区	001道路	05標準横断図SS	00当初	002	C0SS0020.SFC
	○		3		横断図(その1)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	003	C0CS0030.SFC
	○	追加	3	1	横断図(その2)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	007	C0CS0070.SFC
	○		4		構造図(その1)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	004	C0LS0040.SFC
	○	追加	5	1	構造図(その3)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	008	C0LS0080.SFC
	○	変更後	6		擁壁展開図	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	01改訂1回	006	C0LS0061.SFC
	×	*変更前*	*1*		*平面図*	*0:徳島工区*	*001道路*	*03平面図*PL*	*00当初*	*001*	*C0PL0010.SFC*
		変更前	*5*		*構造図(その2)*	*0:徳島工区*	*001道路*	*08小構造物図LS*	*00当初*	*005*	*C0LS0050.SFC*
		廃止	*5*		*構造図(その2)*	*0:徳島工区*	*001道路*	*08小構造物図LS*	*55廃止*	*005*	*C0LS0055Z.SFC*
	×	*変更前*	*6*		*擁壁展開図*	*0:徳島工区*	*001道路*	*08小構造物図LS*	*00当初*	*006*	*C0LS0060.SFC*

② ファイル名の並べ替え

シート左上の並べ替えのボタンをクリックすると、日常作業で便利なように並べ替えることが出来ます。

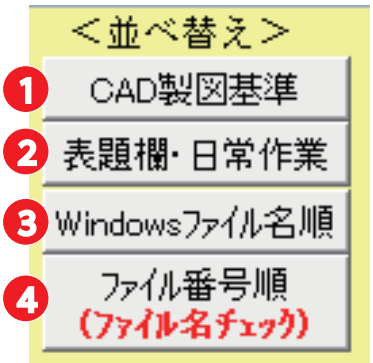


①整理番号を基準にして、次に図面種類を基準にして並ぶ。

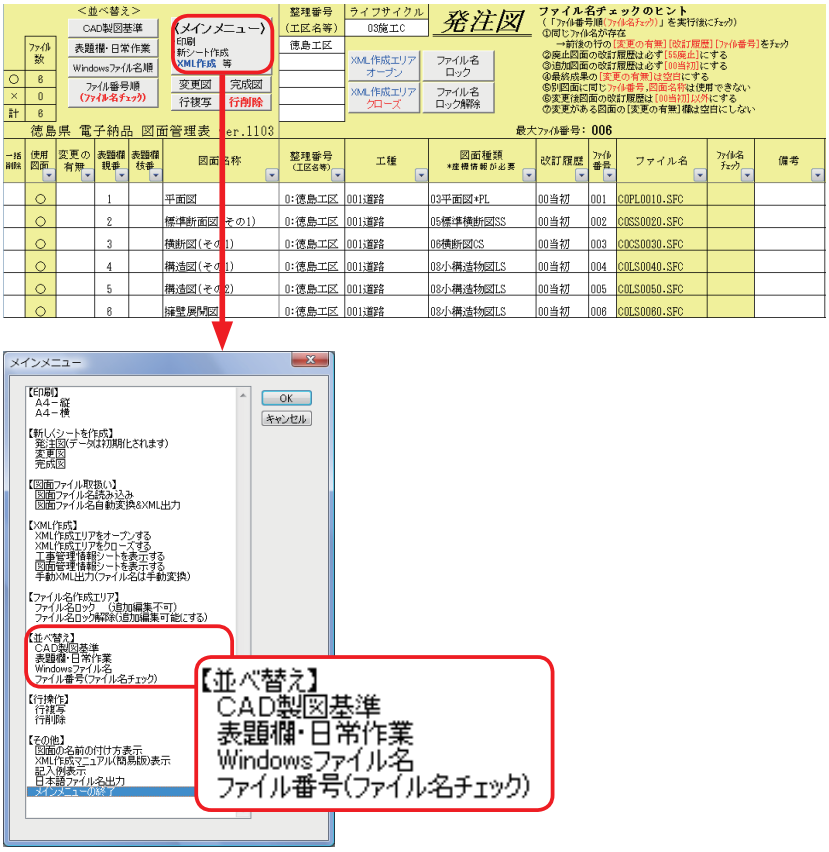
②使用不使用を基準にして、次に表題欄番号を基準に並ぶ。

③ Windows の画面にファイルが並ぶ順に並ぶ。

④ファイル番号順に並ぶ。
★ファイル名のチェックをする時はこのボタンをクリックする。



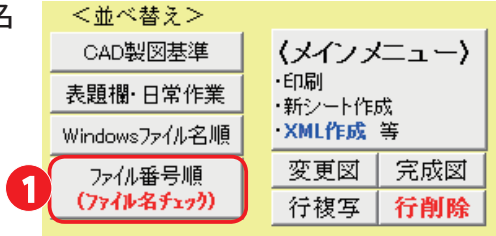
シート左上の【メインメニュー】からも、同じように並べ替えることが出来ます。



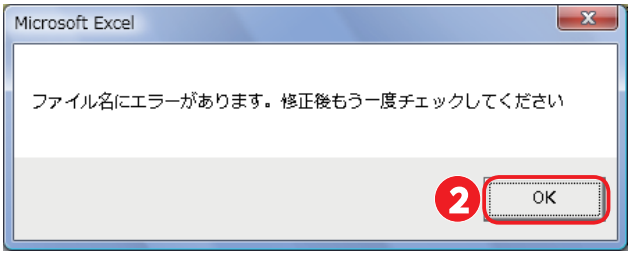
参考　ファイル名チェック

シート左上の（ファイル名チェック）のボタンを押すと、ファイル名作成の基本的な間違いをチェックすることが出来ます。

①シート左上のファイル名チェックのボタンを押す。

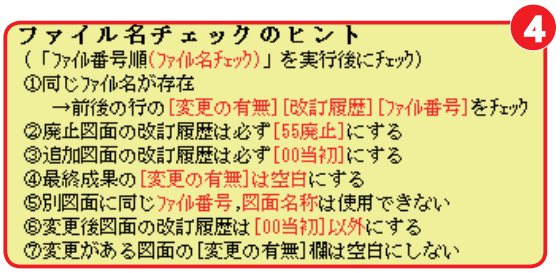


②【ファイル名にエラーがあります。修正後もう一度チェックしてください。】という確認メッセージが表示される。【OK】ボタンをクリックする。



③ファイル名チェックの欄が赤くなり、数字が表示される。

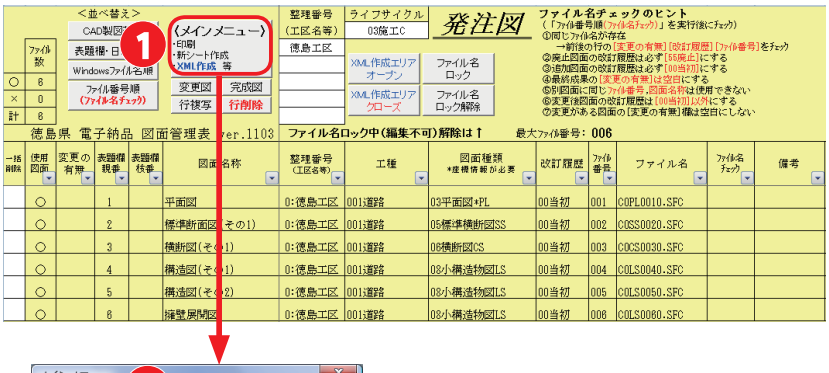
④シート右上のファイル名チェックのヒントを参考にして、これまでの手順を見直す。



③　図面管理表の印刷

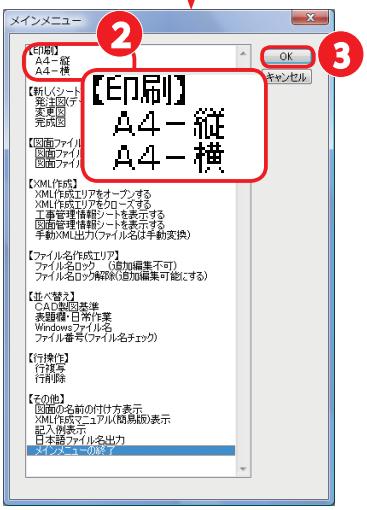
【メインメニュー】-【印刷】から　A4 横か、A4 縦に印刷することが出来ます。

①画面左上の【メインメニュー】をクリックする。

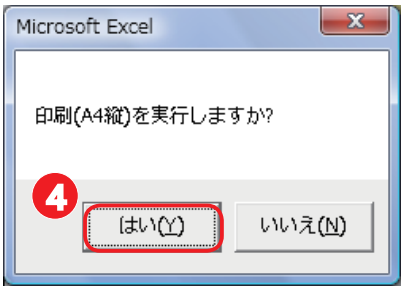


②【印刷】(A4- 縦)もしくは(A4- 横）を選択する。

③【OK】ボタンをクリックする。



④【印刷（A4 縦）を実行しますか？】という確認メッセージが表示されるので、【OK】ボタンをクリックする。



参考　A4- 縦　A4- 横の印刷

★ A4- 縦　【使用図面】から【備考】までの欄を印刷します。

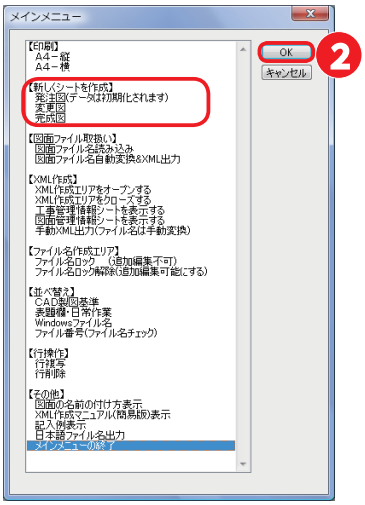
★ A4- 横　【使用図面】から【変換前ファイル名】までの欄を印刷します。【変更前ファイル名】との比較をしたい場合は、こちらを選択して下さい。

④　変更図用のシート作成

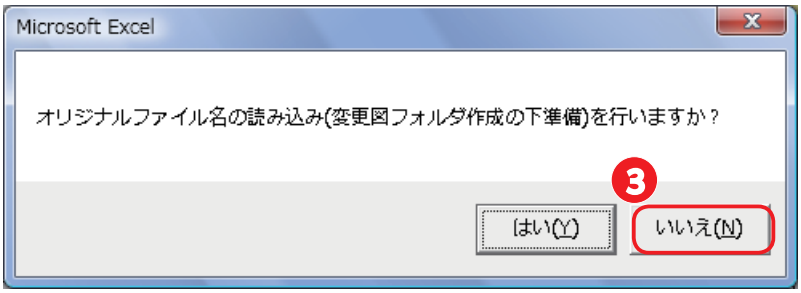
メインメニューの【新しくシートを作成】-【変更図】を選択して、【OK】ボタンをクリックすると、【第○回変更】という名前のシートが新しく作成されます。
このシートに変更や追加の記載を加えて、変更時の図面管理表を作成していきます。
※第 1 回変更は【発注図】シートの【メインメニュー】を、第 2 回変更以降は、直前の【第○回　変更】のシートの【メインメニュー】から新しいシートを作成して下さい。

①第 1 回変更のシートを作成する場合は、発注図のシートを選択し、【メインメニュー】をクリックする。

②【新しくシートを作成】-【変更図】を選択して、【OK】をクリックする。

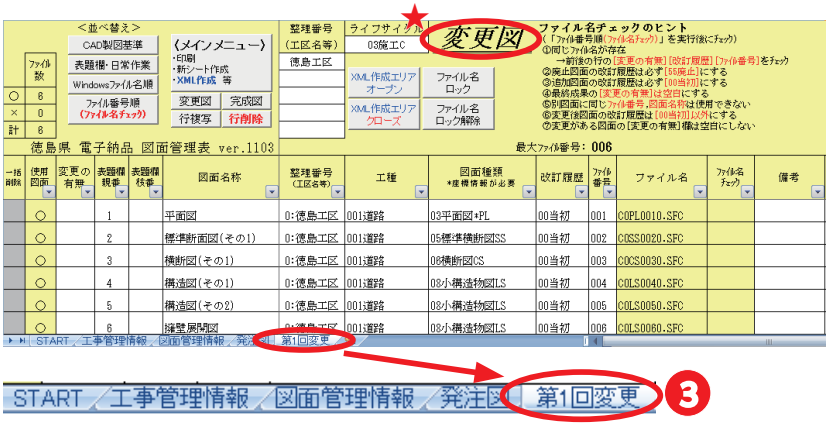


③【オリジナルファイル名の読み込み（変更図フォルダ作成の下準備）をおこないますか？】というメッセージ画面が表示される。
【いいえ】ボタンをクリックする。
★【はい】ボタンは XML 作成時に使用します。詳細はマニュアル（XML 作成編）をご覧ください。



③【発注図】のシートがそのままコピーされ、【第１回変更】のシートが作成される。

④変更・追加・廃止などの記載を行っていく。



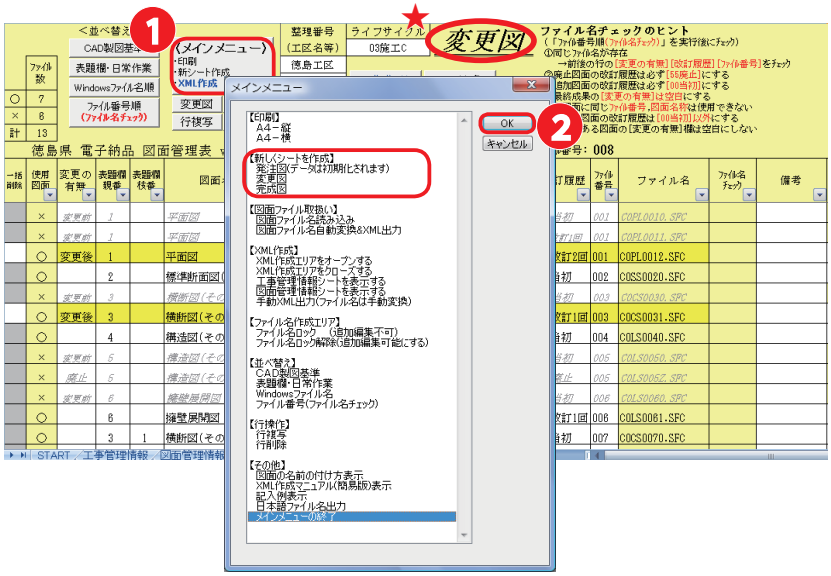
★【変更図】のボタンをクリックしても、変更図用のシートが作成できます。

⑤　完成図用シートを作成する。

最終設計変更の図面管理表のシートを選択します。
メニューの【新しくシートを作成】-【完成図】を選択して、【OK】ボタンをクリックすると、【完成図】という名前のシートが新しく作成されます。
※【最終設計変更】のシートから【完成図】のシートを作成すると、そのまま提出出来る状態になっています。

①最終設計変更の図面管理表のシートを選択し、【メインメニュー】をクリックする。

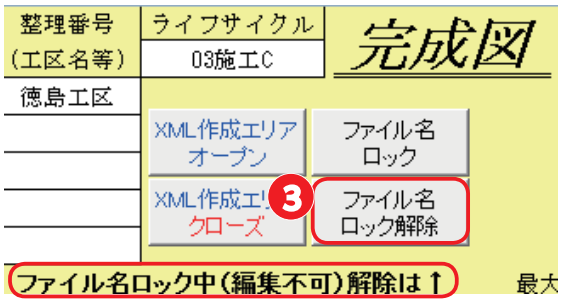
②【新しくシートを作成】-【完成図】を選択して、【OK】をクリックする。



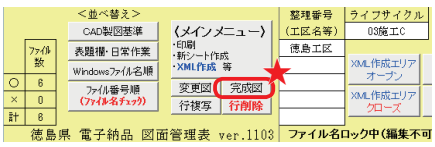
③【完成図】シートは、基本的にこのまま提出できるので、ファイル名がロックされた状態でシートが作成される。
※特に修正したい場合は、【ファイル名ロック解除】ボタンをクリックすると、ファイル名の編集が出来るようになる。

参考　ファイル名ロック

★【ファイル名ロック】の機能を使用すると、図面管理表に記載等を行う事が出来なくなりますので、誤操作を防止することができます。
また、全てのシートにロックをかけておくと、全体のデータ容量を小さくすることが出来ますので、なるべくロックをかけて納品して下さい。

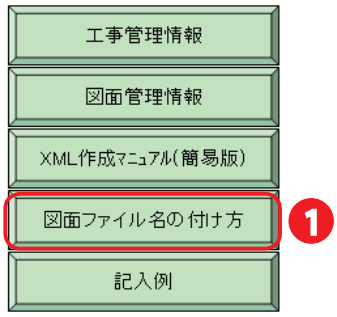


★【完成図】のボタンをクリックしても、完成図用のシートが作成できます。



⑥ 【図面ファイル名の付け方】 を表示する。

① START シートの右側の【図面ファイル名の付け方】をクリックする。



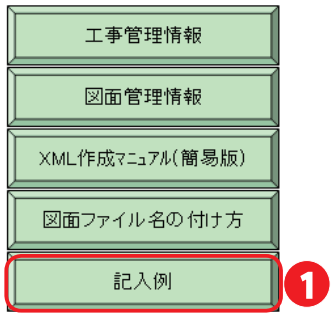
②シートを閉じるときは、画面左上の【このシートを閉じる】ボタンをクリックする。

図面ファイル名の付け方の一例(工種：道路工　拡張子はSFC 例：COPL0010.SFC)

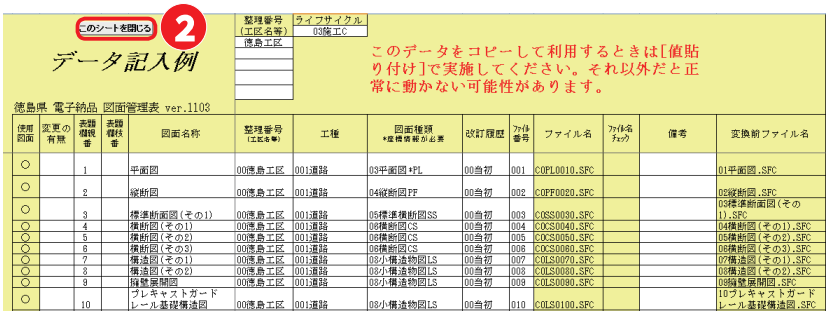
図面種類	このシートを閉じる 2 図面名称	表題欄番号	ファイル番号	改訂履歴	発注図 DRAWI NGS ファイル名	第1回変更(内容変更) DRAWI NGS ファイル名	第1回変更(内容変更) DRAWI NGS 変更の有無欄	第2回変更(内容変更) DRAWI NGS ファイル名	第2回変更(内容変更) DRAWI NGS 変更の有無欄	最終成果品 DRAWI NGS DRAWI NGS		最終成果品 DRAWI NGF DRAWI NGF	最終成果品 ファイル番号	最終成果品 表題欄番号
平面図(PL)	平面図	1	001	当初	COPL0010	COPL0010	変更前	COPL0010	変更前	COPL0010			001	1
				改訂1回		COPL0011	変更後	COPL0011	変更前	COPL0011				
				改訂2回				COPL0012	変更後	COPL0012	→	COPL001Z		
縦断図(PF)	縦断図	2	002	当初	COPF0020	COPF0020		COPF0020		COPF0020	→	COPF002Z	002	2
標準横断図(SS)	標準断面図（その1）	3	003	当初	COSS0030	COSS0030		COSS0030		COSS0030	→	COSS003Z	003	3
横断図(CS)	横断図（その1）	4	004	当初	COCS0040	COCS0040		COCS0040	変更前	COCS0040			004	4
				改訂1回				COCS0041	変更後	COCS0041	→	COCS004Z		
	横断図（その2）	5	005	当初	COCS0050	COCS0050		COCS0050	変更前	COCS0050			005	5
				改訂1回				COCS0051	変更後	COCS0051	→	COCS005Z		
	横断図（その3）	6	006	当初	COCS0060	COCS0060		COCS0060	変更前	COCS0060			006	6
				改訂1回				COCS0061	変更後	COCS0061	→	COCS006Z		
	横断図（その4）	6-1	011	当初		COCS0110	追加	COCS0110		COCS0110	→	COCS007Z	007	7

⑦ 【記入例】を表示する。

① START シートの右側の【記入例】をクリックする。



②シートを閉じるときは、画面左上の【このシートを閉じる】ボタンをクリックする。



このシートを閉じる 2

データ記入例

整理番号(工区名等)	ライフサイクル
徳島工区	03施工C

このデータをコピーして利用するときは[値貼り付け]で実施してください。それ以外だと正常に動かない可能性があります。

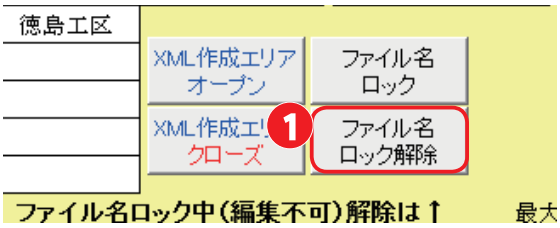
徳島県 電子納品 図面管理表 ver.1103

使用図面	変更の有無	表題欄視番	表題欄枝番	図面名称	整理番号(工区名等)	工種	図面種類 *属性情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名	ファイル名チェック	備考	変換前ファイル名
○		1		平面図	00徳島工区	001道路	03平面図 *PL	00当初	001	COPL0010.SFC			01平面図.SFC
○		2		縦断図	00徳島工区	001道路	04縦断図 PF	00当初	002	COPF0020.SFC			02縦断図.SFC
○		3		標準断面図(その1)	00徳島工区	001道路	05標準横断図SS	00当初	003	COSS0030.SFC			03標準断面図(その1).SFC
○		4		横断図(その1)	00徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	004	COCS0040.SFC			04横断図(その1).SFC
○		5		横断図(その2)	00徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	005	COCS0050.SFC			05横断図(その2).SFC
○		6		横断図(その3)	00徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	006	COCS0060.SFC			06横断図(その3).SFC
○		7		構造図(その1)	00徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	007	COLS0070.SFC			07構造図(その1).SFC
○		8		構造図(その2)	00徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	008	COLS0080.SFC			08構造図(その2).SFC
○		9		縦覧展開図	00徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	009	COLS0090.SFC			09縦覧展開図.SFC
○		10		プレキャストガードレール基礎構造図	00徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	010	COLS0100.SFC			10プレキャストガードレール基礎構造図.SFC

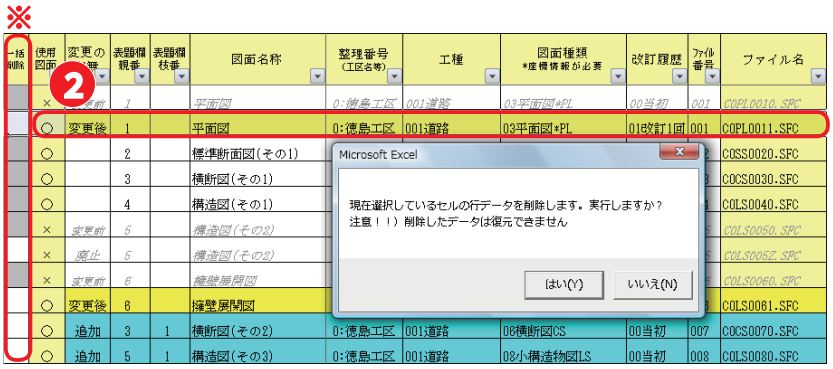
参考　行削除・一括削除の実施

行削除の場合

①【ファイル名ロック解除】ボタンをクリックする。



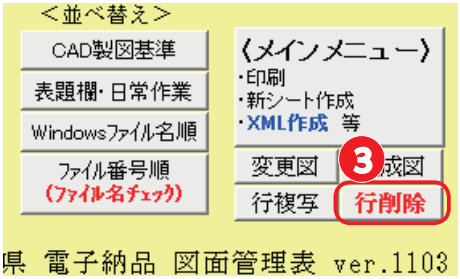
②行削除したい行のどれかのセルを選択する。



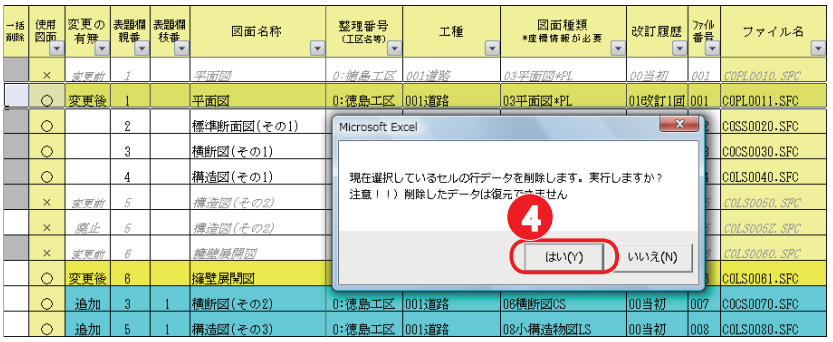
参考　行削除の注意点

★行削除は発注図と変更図（新しく変更したのを対象）のみ削除できます。
※一括削除欄のグレー色部分の行は削除 出来ません。

③【行削除】ボタンをクリックする。



④【現在選択しているセルの行データを削除します。実行しますか？注意!!）削除したデータは復元できません。】というメッセージ画面が表示される。
【はい】ボタンをクリックする。

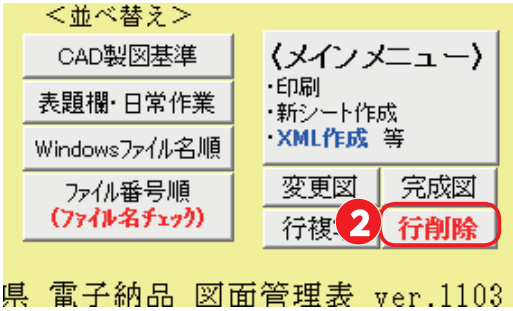


一括削除の場合

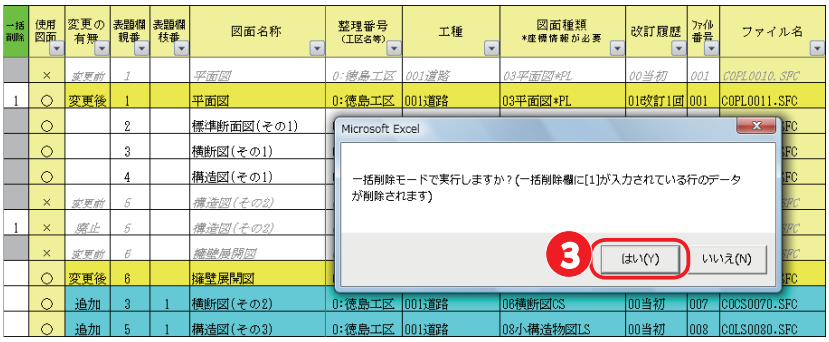
①複数の行削除を行いたい場合は、一括削除欄に数字の【1】を記載する。

一括削除	使用図面	変更の有無	表題欄親番	表題欄枝番	図面名称	整理番号(工区名等)	工種	図面種類 *座標情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名
	×	変更前	1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	00当初	001	C0PL0010.SFC
1	○	変更後	1		平面図	0:徳島工区	001道路	03平面図*PL	01改訂1回	001	C0PL0011.SFC
	○		2		標準断面図(その1)	0:徳島工区	001道路	05標準横断図SS	00当初	002	C0SS0020.SFC
	○		3		横断図(その1)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	003	C0CS0030.SFC
	○		4		構造図(その1)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	004	C0LS0040.SFC
	×	変更前	5		構造図(その2)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	005	C0LS0050.SFC
1	×	廃止	5		構造図(その2)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	55廃止	005	C0LS0052.SFC
	×	変更前	6		擁壁展開図	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	006	C0LS0060.SFC
	○	変更後	6		擁壁展開図	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	01改訂1回	006	C0LS0061.SFC
	○	追加	3	1	横断図(その2)	0:徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	007	C0CS0070.SFC
	○	追加	5	1	構造図(その3)	0:徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	008	C0LS0080.SFC

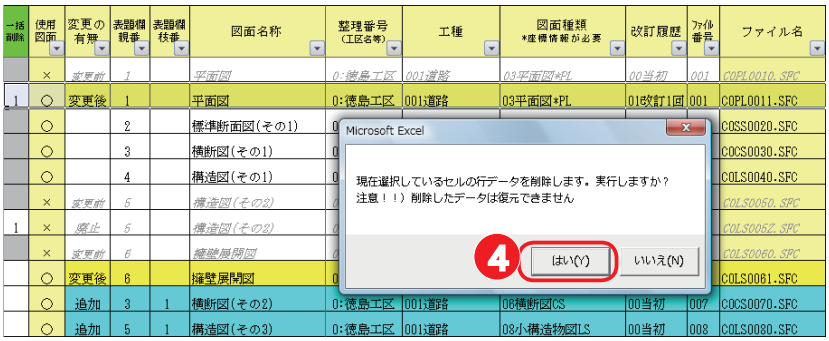
②【行削除】ボタンをクリックする。



③【一括削除モードで実行しますか?(一括削除欄に[1]が入力されている行のデータが削除されます)】というメッセージ画面が表示される。
【はい】ボタンをクリックする。



④【現在選択しているセルの行データを削除します。実行しますか?注意!!)削除したデータは復元できません。】というメッセージ画面が表示される。
【はい】ボタンをクリックする。
★複数選択した数だけ同じメッセージが表示されます。



07 補足・Excel2007 マクロを有効にするには

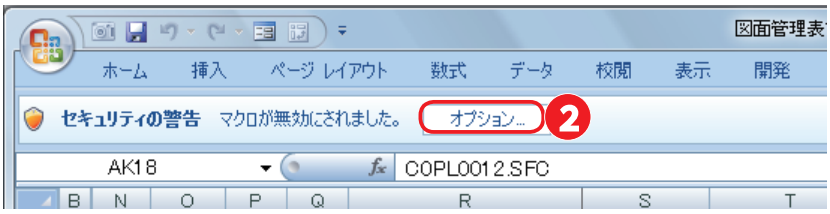
マクロとは

マクロとはエクセルに標準装備されている、複数の手順を記憶して自動的に実行させる機能のことです。このマクロ機能を悪用すれば悪意のあるウイルスを感染させることが出来ますので、エクセルの初期段階ではマクロが有効になっていません。セキュリティを変更してすべてのマクロを有効にするより、毎回、マクロを有効にする方が安全です。
エクセル 2003 の場合は、警告のダイアログボックスが表示されますので、【マクロを有効にする】を選択します。

Excel2007　のマクロを有効にする

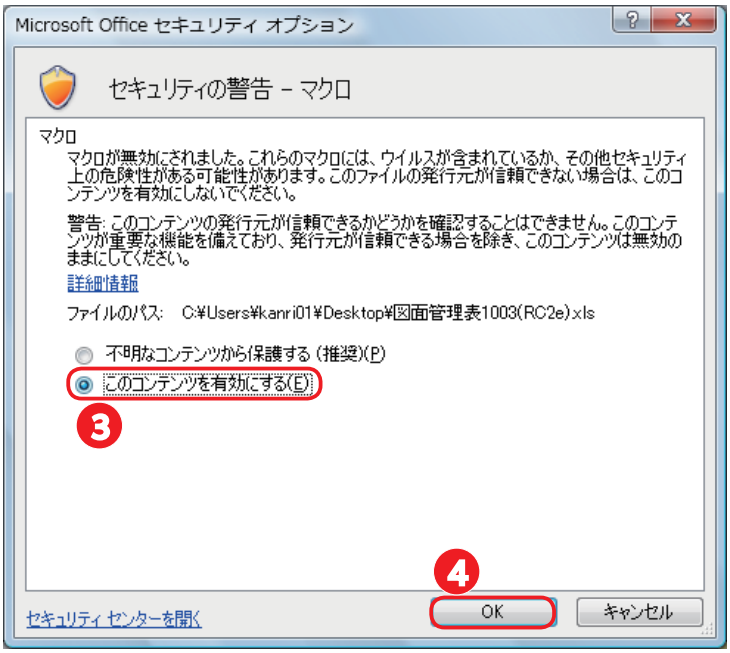
①警告のダイアログボックスが出たら【OK】をクリックする。

②画面右上の【セキュリティの警告】のオプションボタンをクリックする。



③【このコンテンツを有効にする】にチェックを入れる。

④【OK】をクリックする。



08 補足・図面ファイル名の付け方（CAD製図基準案）

1　ファイル名作成規則

2　図面の種類　参考：道路設計（その他の工種は添付資料３の〔工種別図面名一覧〕をご覧下さい。）

LC　LoCation　位置図

IP　Intersection Plan　交差点位置図

PL　PLan　平面図

PF　ProFile　縦断図

SS　Standard cross Section　標準横断図

CS　Cross Section　横断図

MC　Mass Curve　土積図

LS　Little Structure　小構造物図

DP　Drainage Plan　用排水系統図

DF　Drainage Facilities　用排水工詳細図

09 補足・図面ファイル名の付け方（徳島県独自ルール）

1　変更図面の場合

＊例１＊
図面番号１番
平面図を変更する

★改訂履歴を表す末尾の番号を、変更回数と同じ数字に変えて、追加する。

変更前ファイル

C0PL0010.SFC

＋

変更後ファイル

C0PL0011.SFC

2　追加図面の場合

＊例２＊
横断図（その２）を
追加する

★表題欄番号には枝番を使用する。
★ファイル番号には既存の番号の末尾に追加した番号を使用する。

C0CS0070.SFC

★６番までの図面番号が既に使用されている場合は７番を使用する。

表題欄番号　3-1

★図面番号３番と４番の間に差し込みたい図面の場合3-1と枝番を使用する。

3　廃止図面の場合

＊例３＊
図面番号５番
構造図（その２）を廃止する

★改訂履歴を表す末尾の番号がＺのファイルをDRAWINGSフォルダに追加して、廃止とする。

元のファイル

C0LS0050.SFC

＋

廃止のファイル

C0LS005Z.SFC

10 よくある質問 Q & A

Q：行の削除や複製はボタンを使わないと出来ないのですか？

A：誤操作を少なくするために、シートに保護がかけられています。ですので、自由に削除や複製を行う事ができません。画面上部にある、【行削除】ボタンや【行複製】ボタンを使用してください。また、手動でコピーを行う時は、【形式を選択して貼り付け】-【値】で貼り付けを行って下さい。普通に貼り付けると、図面管理表の機能がうまく働かなくなります。

Q：【行削除】ボタンをクリックしても、データしか消えず、行が残ります。

A：【行削除】ボタンでは、データのみを消去します。その後で、並べ替えボタンをクリックすると空白の行が削除されます。
※【変換前ファイル名】の欄は【行複製】【行削除】ボタンではコピーや削除はされません。

Q：他の Excel ファイルからのデータを貼り付けしても大丈夫ですか？

A：他のファイルからのデータをコピーして、貼り付けを行う時は、【形式を選択して貼り付け】-【値】で貼り付けを行って下さい。普通に貼り付けると、図面管理表の機能がうまく働かなくなります。

Q：図面管理表の一部をコピーして貼り付けようとしましたが、エラー表示がでます。

A：誤操作を少なくするために、図面管理表のオレンジ色の部分は、保護されています。貼り付けが行えるのは白い部分だけですので、ご注意下さい。

Q：変換前ファイル名の欄には何か記入するのですか？

A：この欄は、XML 作成機能を使用する時に必要となる欄です。通常の図面管理表には、必要ありませんので、空欄のままで提出してもかまいません。

Q：図面種類の下に【＊座標情報が必要】と書かれていますが、どこに記入するのですか？

A：座標情報は、XML 作成機能を使用する時に必要となります。通常の図面管理表には、必要ありません。

Q：図面管理表のデータ容量が大きいのですが、小さくすることは出来ますか？

A：画面上部にある【ファイル名ロック】ボタンをクリックして、全てのシートをロックすると、図面管理表全体の容量が小さくなります。

Q：図面管理表に記入しようとすると、エラー表示がでます。

A：誤操作を少なくするために、オレンジ色の部分には保護がかけられています。オレンジの部分には記入することが出来ません。白い部分に記入出来ない場合は、画面上部中央にファイル名ロック中（編集不可）という表示が出ていないか確認して下さい。この表示が出ている時は、記入が出来ませんので、画面上部の【ファイル名ロック解除】ボタンをクリックして解除して下さい。

Q：画面のなかに管理表が収まらなくなりました。表示は何%ですか？

A：標準の表示は 90%になっています。【表示】-【ズーム】で自分の環境に合ったサイズを選択して下さい。

添付資料　1　　電子納品のフォルダ及びファイル構成一覧表

標準型

必須項目○：発注者作成　●：受注者作成（ ）該当ある場合のみ　任意項目△：発注者　▲：受注者作成(要協議)　(発)発注者　(受)受注者

フォルダ構成	ファイル名	内容	発注時 (発)→(受)	施工中 (発)←(受)の場合	施工中 (発)→(受)の場合	施工中 変更契約時(発)→(受)	竣工 (発)←(受)	備考(必要なソフト等)
¥	<<ルートフォルダ>							
	INDEX_C.XML	工事管理ファイル	○	●(変更あれば)	○	○	●	電子納品支援ソフト
	INDE_C04.DTD	工事完成図書の電子納品要領(案)H20.5を使用の場合	○	○	○	○	●	
DRAWINGS	<<発注図フォルダ>							
	DRAWINGS.XML	図面管理ファイル	○	●	○	○	○	電子納品支援ソフト
	DRAW03.DTD	CAD製図基準(案)H16.6を使用の場合	○	○	○	○	○	CADソフト(電子納品対応)
	C0LC0010.SFC	発注図面ファイル	○	○	○	○	○	
	C0PL0020.SFC	〃	○	○	○	○	○	
	：	〃	○	○	○	○	○	
	：	追加、変更ファイル		▲(協議図)	△(協議図)	○	○	
	：	〃		▲(協議図)	△(協議図)	○	○	
	：	〃		▲(協議図)	△(協議図)	○	○	
SPEC	<<特記仕様書オリジナルファイルフォルダ>							
	SPEC10.PDF	特記仕様書(当初)	○	○	○	○	○	表計算ソフト(EXCEL互換) PDF作成ソフト
	SPEC11.PDF	特記仕様書(第1回変更)				○	○	
	SPEC20.PDF	現場説明書(当初)	○	○	○	○	○	
	SPEC21.PDF	現場説明書(第1回変更)				○	○	
	SPEC30.XLS	数量総括表(当初)	○	○	○	○	○	
	SPEC31.XLS	数量総括表(第1回変更)		▲	△	○	○	
	SPEC40.XLS	数量計算書(当初)	○	○	○	○	○	
	SPEC41.XLS	数量計算書(第1回変更)		▲	△	○	○	
DRAWINGF	<<完成図フォルダ>							
	DRAWINGF.XML	図面管理ファイル					●	電子納品支援ソフト
	DRAW03.DTD	CAD製図基準(案)H16.6を使用の場合					●	CADソフト(電子納品対応)
	C0LC001Z.SFC	完成図面ファイル					●	
	C0PL002Z.SFC	〃					●	
	：	〃					：	
PHOTO	<<写真フォルダ>							
	PHOTO.XML	写真管理ファイル					●	電子納品支援ソフト
	PHOT005.DTD	デジタル写真管理情報基準(案)H20.5を使用の場合					●	
PIC	<<写真フォルダ>							
	P0000001.JPG	写真ファイル					●	写真管理ソフト(電子納品対応)
	：	〃					：	
	Pnnnnnnn.JPG	〃					●	
DRA	<<参考図フォルダ>							
	D0000001.xxx	参考図ファイル(JPG または PDF)					●	PDF作成ソフト(必要に応じて)
	：	〃					：	
	Dnnnnnnn.xxx	〃					●	
BORING	<<地質データフォルダ>							
	地質データ（調査ボーリング、平板載荷試験等）がある場合、[BORING]フォルダごと添付する。ない場合は不要						(●)	
打合せ簿	<<打合せ簿フォルダ>							
	○○○○.PDF	工事打合せ簿(提出・報告・通知・届出)【電子ﾒｰﾙ様式1】	①ｵﾘｼﾞﾅﾙﾃﾞｰﾀは受注者が作成 ②電子ﾒｰﾙで県担当者に送信 ③決裁後に県担当者から電子ﾒｰﾙで送られてくる ④電子データのまま保存 ⑤最終成果品に保存していた(県から送られてきた)データを添付する ⑥紙での提出は不要				(●)	情報共有：電子メール型
	○○○○.PDF	確認・立会願【電子ﾒｰﾙ様式2】					(●)	任意で実施
	○○○○.PDF	段階確認願【電子ﾒｰﾙ様式3】					(●)	
	○○○○.PDF	材料確認願【電子ﾒｰﾙ様式4】					(●)	
	○○○○.PDF	休日・夜間作業届【電子ﾒｰﾙ様式5】					(●)	
	○○○○.PDF	工事履行報告書【電子ﾒｰﾙ様式6】					(▲)	(監督員が指示した工事)
資料	<<資料フォルダ>							
	CRnnnnnn.LZH	クレダスデータ(nnnnnnは契約番号の下6桁)					●	
	エラーチェック(発注).XLS	発注フォルダのエラーチェック結果	○	○	○	○	○	名前の付け方は自由
	エラーチェック(第1回).XLS	変更フォルダのエラーチェック結果		●	○	○	○	
	エラーチェック(完成).XLS	完成フォルダのエラーチェック結果					●	
	図面管理表(発注).XLS	図面管理ファイル(発注時)	○	○	○	○	○	同一のファイルにシートを増やす形での対応も可 (名前の付け方は自由) ※1：必要な情報が確認できる資料であれば可(ﾌｧｲﾙ形式は問わない)
	図面管理表(第1回).XLS	図面管理ファイル(第1回変更)		●(※1)	○(※1)	○	○	
	図面管理表(完成).XLS	図面管理ファイル(完成図)					●(※1)	
	○○○○.xxx	その他受け渡しが必要な電子データ(測量座標等)	(△)	(▲)	(△)	(△)	(▲)	
	：		：	：	：	：	：	
附属資料	○○○○.xxx(XLS)	着手前協議ﾁｪｯｸｼｰﾄ(土木工事)【ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ附属資料1】					●	
	○○○○.xxx(XLS)	納品前協議ﾁｪｯｸｼｰﾄ(土木工事)【ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ附属資料2】					●	
	○○○○.xxx(DOC)	電子納品(任意試行)申請書【ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ附属資料7】					▲	オリジナルデータを添付(任意)
出来形	○○○○.SFC	出来形管理図_図面番号1					●	CAD製図基準に準拠しなくても良い
	：	〃					：	
	：	〃					：	
	○○○○.SFC	出来形管理図_図面番号mm					●	

最終変更時の発注図フォルダをそのまま添付

資料フォルダの構成は自由(わかりやすい構成を

ﾌｧｲﾙ形式：SFC

○○○○：日本語表記が可能(わかりやすい名前にすること)

電子納品のフォルダ及びファイル構成一覧表

簡易型：協議により運用可能

必須項目○：発注者作成　●：受注者作成（ ）該当ある場合のみ　任意項目△：発注者　▲：受注者作成(要協議)　(発)発注者　(受)受注者

フォルダ構成	ファイル名	内容	発注時 (発)→(受)	施工中 (発)←→(受)	施工中 変更契約時 (発)→(受)	竣工 (発)←(受)	備考 (必要なソフト等)
¥	<<ルートフォルダ>>						
	INDEX_C.XML	工事管理ファイル	○ (発注者分記入)		○	● (受注者分追記)	電子納品支援ソフト
	INDE_C04.DTD	工事完成図書の電子納品要領(案)H20.5を使用の場合	○		○	●	
DRAWINGS	<<発注図フォルダ>>						
	DRAWINGS.XML	図面管理ファイル	○		○	○	電子納品支援ソフト
	DRAW03.DTD	CAD製図基準(案)H16.6を使用の場合	○		○	○	CADソフト(電子納品対応)
	C0LC0010.SFC	発注図面ファイル	○		○	○	
	C0PL0020.SFC	〃	○		○	○	
	:	〃	○		○	○	
	:	追加、変更ファイル			○	○	
	:	〃			○	○	
	:	〃			○	○	
SPEC	<<特記仕様書オリジナルファイルフォルダ>>						
	SPEC10.PDF	特記仕様書(当初)	○		○	○	表計算ソフト(EXCEL互換) PDF作成ソフト
	SPEC11.PDF	特記仕様書(第1回変更)			○	○	
	SPEC20.PDF	現場説明書(当初)	○		○	○	
	SPEC21.PDF	現場説明書(第1回変更)			○	○	
	SPEC30.XLS	数量総括表(当初)	○		○	○	
	SPEC31.XLS	数量総括表(第1回変更)			○	○	
	SPEC40.XLS	数量計算書(当初)	○		○	○	
	SPEC41.XLS	数量計算書(第1回変更)			○	○	
DRAWINGF	<<完成図フォルダ>>						
	DRAWINGF.XML	図面管理ファイル				●	電子納品支援ソフト
	DRAW03.DTD	CAD製図基準(案)H16.6を使用の場合				●	CADソフト(電子納品対応)
	C0LC001Z.SFC	完成図面ファイル				●	
	C0PL002Z.SFC	〃				●	
	:	〃				:	
PHOTO	<<写真フォルダ>>						
	PHOTO.XML	写真管理ファイル				●	電子納品支援ソフト
	PHOT004.DTD	デジタル写真管理情報基準(案)H18.1を使用の場合				●	
	PHOT005.DTD	デジタル写真管理情報基準(案)H20.5を使用の場合					
PIC	<<写真フォルダ>>						
	P0000001.JPG	写真ファイル				●	写真管理ソフト(電子納品対応)
	:	〃				:	
	Pnnnnnnn.JPG	〃				●	
DRA	<<参考図フォルダ>>						
	D0000001.xxx	参考図ファイル(JPG または PDF)				●	PDF作成ソフト(必要に応じて)
	:	〃				:	
	Dnnnnnnn.xxx	〃				●	
BORING	<<地質データフォルダ>>						
	地質データ					(●)	(調査ボーリング、平板載荷試験等) がある場合、[BORING]フォルダごと添付する。ない場合は不要
資料	<<資料フォルダ>>						
	CRnnnnnn.LZH	クレダスデータ(nnnnnnは契約番号の下6桁)				●	
	エラーチェック(発注).XLS	発注フォルダのエラーチェック結果	○		○	○	名前の付け方は自由
	エラーチェック(第1回).XLS	変更フォルダのエラーチェック結果			○	○	
	エラーチェック(完成).XLS	完成フォルダのエラーチェック結果				●	
	図面管理表(発注).XLS	図面管理ファイル(発注時)	○		○	○	同一のファイルにシートを増やす形での対応も可 (名前の付け方は自由) ※1：必要な情報が確認できる資料であれば可(ﾌｧｲﾙ形式は問わない)
	図面管理表(第1回).XLS	図面管理ファイル(第1回変更)			○	○	
	図面管理表(完成).XLS	図面管理ファイル(完成図)				●(※1)	
	○○○○.xxx	その他受け渡しが必要な電子データ(測量座標等)	(△)		(△)	(▲)	
	:		:		:	:	
附属資料	○○○○.xxx(XLS)	着手前協議ﾁｪｯｸｼｰﾄ(土木工事)【ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ附属資料1】				●	
	○○○○.xxx(XLS)	納品前協議ﾁｪｯｸｼｰﾄ(土木工事)【ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ附属資料2】				●	
	○○○○.xxx(DOC)	電子納品(任意試行)申請書【ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ附属資料7】				▲	オリジナルデータを添付(任意)
出来形	○○○○.SFC	出来形管理図_図面番号1				●	CAD製図基準に準拠しなくても良い
	:	〃				:	
	:	〃				:	
	○○○○.SFC	出来形管理図_図面番号mm				●	
打合せ簿	<<打合せ簿フォルダ>>						
	○○○○.PDF	工事打合せ簿(提出・報告・通知・届出)【電子ﾒｰﾙ様式1】	①ｵﾘｼﾞﾅﾙﾃﾞｰﾀは受注者が作成 ②電子ﾒｰﾙで県担当者に送信 ③決裁後に県担当者から電子ﾒｰﾙで送られてくる ④電子データのまま保存 ⑤最終成果品に保存していた(県から送られてきた)データを添付する ⑥紙での提出は不要			(●)	情報共有：電子メール型
	○○○○.PDF	確認・立会願【電子ﾒｰﾙ様式2】				(●)	任意で実施
	○○○○.PDF	段階確認願【電子ﾒｰﾙ様式3】				(●)	
	○○○○.PDF	材料確認願【電子ﾒｰﾙ様式4】				(●)	
	○○○○.PDF	休日・夜間作業届【電子ﾒｰﾙ様式5】				(●)	
	○○○○.PDF	工事履行報告書【電子ﾒｰﾙ様式6】				(▲)	(監督員が指示した工事)

各データのやり取りは自由なフォルダ構成、ファイル名(日本語可)でOK
(条件)
・図面はSFC形式(表題欄、変更の履歴がわかるファイル名であること)
・ウィルスチェックをしておくこと

最終変更時の発注図フォルダをそのまま添付

資料フォルダの構成は自由(わかりやすい構成を

ファイル形式：SFC

○○○○：日本語表記が可能(わかりやすい名前にすること)

添付資料　2

図面ファイル名の付け方の一例(工種：道路工　拡張子はSFC 例：C0PL0010.SFC)

図面種類	図面名称	表題欄番号	ファイル番号	改訂履歴	発注図	第１回変更（内容変更）		第2回変更（内容変更）		最終成果品				
					DRAWINGS	DRAWINGS		DRAWINGS		DRAWINGS		DRAWINGF		
					ファイル名	ファイル名	変更の有無欄	ファイル名	変更の有無欄	DRAWINGS		DRAWINGF	ファイル番号	表題欄番号
平面図(PL)	平面図	1	001	当初	C0PL0010	C0PL0010	変更前	C0PL0010	変更前	C0PL0010			001	1
				改訂1回		C0PL0011	変更後	C0PL0011	変更前	C0PL0011				
				改訂2回				C0PL0012	変更後	C0PL0012	→	C0PL001Z		
縦断図(PF)	縦断図	2	002	当初	C0PF0020	C0PF0020		C0PF0020		C0PF0020	→	C0PF002Z	002	2
標準横断図(SS)	標準断面図（その1）	3	003	当初	C0SS0030	C0SS0030		C0SS0030		C0SS0030	→	C0SS003Z	003	3
横断図(CS)	横断図（その1）	4	004	当初	C0CS0040	C0CS0040		C0CS0040	変更前	C0CS0040			004	4
				改訂1回				C0CS0041	変更後	C0CS0041	→	C0CS004Z		
	横断図（その2）	5	005	当初	C0CS0050	C0CS0050		C0CS0050	変更前	C0CS0050			005	5
				改訂1回				C0CS0051	変更後	C0CS0051	→	C0CS005Z		
	横断図（その3）	6	006	当初	C0CS0060	C0CS0060		C0CS0060	変更前	C0CS0060			006	6
				改訂1回				C0CS0061	変更後	C0CS0061	→	C0CS006Z		
	横断図（その4）	6-1	011	当初		C0CS0110	追加	C0CS0110		C0CS0110	→	C0CS007Z	007	7
小構造物図(LS)	構造図（その1）	7	007	当初	C0LS0070	C0LS0070		C0LS0070		C0LS0070	→	C0LS008Z	008	8
	構造図（その2）	8	008	当初	C0LS0080	C0LS0080	変更前	C0LS0080	変更前	C0LS0080				
				廃止		C0LS008Z	廃止	C0LS008Z	廃止	C0LS008Z				
	構造図（その3）	8-1	012	当初		C0LS0120	追加	C0LS0120		C0LS0120	→	C0LS009Z	009	9
	擁壁展開図	9	009	当初	C0LS0090	C0LS0090	変更前	C0LS0090	変更前	C0LS0090			010	10
				改訂1回		C0LS0091	変更後	C0LS0091		C0LS0091	→	C0LS010Z		
	プレキャストガードレール基礎構造図	10	010	当初	C0LS0100	C0LS0100		C0LS0100		C0LS0100	→	C0LS011Z	011	11
添付ファイル数(枚)					10	15		19		19		11		

発注図

ファイル番号と図面表題欄は図面種類毎に並び替えて付ける(欠番無し、右表参照)※

※ファイル番号と図面表題欄の番号は一致させる(ファイル名　C0PL0010.SFC　ファイル名 → 001

図面表題欄 → 1

複数の工種にまたがる場合は、工事の内容、現場の状況に応じて表題欄の番号を付けてください。(無理に工種番号順に並べる必要はありません)

道路工の場合
01位置図LC
02交差点位置図IP
03平面図PL
04縦断図PF
05標準横断図SS
06横断図CS
07土積図MC
08小構造物図LS
09用排水系統図DP
10用排水工詳細図DF

変更図

追加図面　ファイル番号　一番大きな番号の次の番号から付ける

図面表題欄番号　枝番を付ける

※ファイル番号と図面表題欄番号は一致しなくても構わない

※変更図面では図面表題欄番号は固定(途中で変更しない)

削除図面　末尾にZを付けてファイルは添付。(最終変更まで残しておく)

最終成果品

DRAWINGS(発注図フォルダ)

最終変更の発注図フォルダをそのまま添付(SPECフォルダも)

DRAWINGF(完成図フォルダ)

最終変更の発注図フォルダの図面のうち使用していた図面のみ添付(変更前,削除図面は添付しない)

ファイル名末尾はZ (例:C0LS011Z.SFC)

《土木工事》

工事別図面名一覧（1）

001 道路 *002 歩道* *003 平面交差点* *004 立体交差* *005 道路休憩施設* *006 一般構造物*	01 位置図 LC 02 交差点位置図 IP 03 平面図 PL 04 縦断図 PF 05 標準横断図 SS 06 横断図 CS 07 土積図 MC 08 小構造物図 LS 09 用排水系統図 DP 10 用排水工詳細図 DF

007 地下横断歩道等	01 位置図 LC 02 一般平面図 PL 03 一般縦断図 PF 04 標準横断図 SS 05 構造図 VS 06 配筋図 RA 07 付属物設計図 AS 08 防水工図 WP 09 継手詳細図 JN 10 排水設備詳細図 DF 11 仮設全体平面図 TL 12 仮設全体縦断図 TF 13 仮設横断図 TC 14 仮設構造図 TS 15 細部構造図 DP

008 共同溝	01 位置図 LC 02 埋設物件平面図 PR 03 一般平面図 PL 04 一般縦断図 PF 05 標準横断図 SS 06 構造図 VS 07 管路部構造図 PS 08 特殊部構造図 GS 09 配筋図 RA 10 付属物設計図 AS 11 防水工図 WP 12 継手詳細図 JN 13 排水設備詳細図 DF 14 仮設全体平面図 TL 15 仮設全体縦断図 TF 16 仮設横断図 TC

009 電線共同溝	01 位置図 LC 02 埋設物件平面図 PR 03 一般平面図 PL 04 一般縦断図 PF 05 標準横断図 SS 06 特殊部配筋図 RB 07 管路部構造図 PS 08 特殊部構造図 GS 09 細部構造図 DP 10 仮設構造図 TS

010 地下駐車場	01 位置図 LC 02 全体一般図 GV 03 構造一般図 GS 04 配筋図 RB 05 防水工図 WP 06 細部構造図 DP

011 山岳トンネル	01 位置図 LC 02 平面図 PL 03 縦断図 PF 04 地質平面図 GP 05 地質・土質縦断図 GF 06 トンネル標準断面図 SS 07 支保工詳細図 RB 08 本体工補強鉄筋図 RS 09 坑門工一般図 VP 10 坑門工構造詳細図 RP 11 用排水系統図 DP 12 用排水工詳細図 DF 13 防水工図 WP 14 舗装工詳細図 PV

012 シールドトンネル（立坑）	01 位置図 LC 02 全体一般図 GV 03 道路線形図 AR 04 標準横断図 CS 05 地質・土質縦断図 GF 06 標準断面図 SS 07 用排水系統図 DP 08 用排水工詳細図 DF 09 舗装工詳細図 PV 10 セグメント構造一般図 GS 11 セグメント配置図 LR 12 構造物詳細図 DS 13 セグメント配筋図 RS 14 二次覆工配筋図 RL 15 仮設工詳細図 TS 16 立坑位置図 LS 17 立坑全体一般図 VS 18 立坑構造一般図 SH 19 立坑構造詳細図 DH 20 立坑配筋図 RH 21 立坑仮設構造物一般図 GT 22 立坑仮設構造物詳細図 DT

013 開削トンネル	01 位置図 LC 02 全体一般図 GV 03 道路線形図 AR 04 小構造物図 LS 05 構造物詳細図 DS 06 立坑仮設構造物一般図 GT 07 仮設工詳細図 TS

《土木工事》

工事別図面名一覧（2）

014 橋梁	01 位置図 LC 02 一般図 GV 03 線形図 AL 04 構造一般図 (上部工)GS 05 橋台構造一般図 GA 06 橋脚構造一般図 GP 07 基礎構造一般図 GF 08 主げた図 (構造図)MG 09 横げた図 (構造図) CB 10 対傾構図 (構造図) SW 11 横構図 (構造図) LT 12 主構図 (構造図) MM 13 床組図 (構造図) FB 14 床板図 (構造図) SL 15 支承図 (構造図) BR 16 伸縮装置図 (構造図) EJ 17 排水装置図 (構造図) DR 18 高欄防護柵図 (構造図) HR 19 遮音壁図 (構造図) NB 20 検査路図 (構造図)IW 21 製作キャンバー図 CM 22 応力図 ST 23 施工要領図 WP 24 橋台配筋図 (構造図) RA 25 橋脚配筋図 (構造図) RP 26 基礎配筋図 (構造図)RF 27 仮設構造図 TS

015 護岸 *016 樋門、樋管、堰、水門、排水機場設計* *017 床止め*	01 位置図 LC 02 平面図 PL 03 縦断図 PF 04 横断図 CS 05 本体工詳細図 VS 06 付帯工詳細図 AS 07 配筋図 RB 08 土工図 EW 09 仮設構造物詳細図 TS 10 基礎工詳細図 DP 11 本体工一般図 GS 12 一般図 GV 13 標準断面図 SS

018 堤防、護岸、緩傾斜堤、胸壁 *019 突堤* *020 離岸堤、人工リーフ、消波堤* *021 高潮・津波防波堤* *022 人工岬* *023 人工海浜* *024 付帯設備*	01 位置図 LC 02 全体平面図 PL 03 標準断面図 SS 04 縦断図 PF 05 横断図 CS 06 付帯工詳細図 AS 07 配筋図 RB 08 土工図 EW 09 仮設構造物詳細図 TS 10 本体工詳細図 VS 11 基礎工詳細図 DP 12 本体工一般図 GS

025 砂防ダム及び床固工 *026 流路工* *027 土石流対策及び流木対策工* *028 護岸工* *029 山腹工*	01 位置図 LC 02 平面図 PL 03 縦断図 PF 04 横断図 CS 05 掘削横断図 CE 06 構造図 VS 07 付帯物詳細図 AS 08 基礎工一般図 GF 09 施工計画図 CP 10 堆砂地横断図 CR 11 水替え工法図 DW 12 打設順序図 LS 13 仮設構造物詳細図 TS

030 重力式コンクリートダム *031 ゾーン型フィルダム*	01 位置図 LC 02 全体図 TP 03 堤体平面図 DP 04 堤体上流断面図 DU 05 堤体下流断面図 DD 06 堤体標準横断図 DS 07 堤体横断面図 DR 08 縦断図 PF 09 構造図 VS 10 付帯構造物図 AS 11 基礎工処理計画図 CP 12 その他施設図付帯設備用 AE 13 配筋図 RB 14 一般図 GV

032 宅地開発 *033 公園（基盤整備）* *034 下水道（管路）*	01 位置図 LC 02 平面図 PL 03 系統図 SL 04 縦断図 PF 05 横断図 CS 06 構造図 VS 07 仮設図 TS

035 地質	01 地質平面図 GP 02 地質縦断図 GF 03 地質断面図 GC 04 地質水平断面図 GH 05 地質斜め断面図 GT 06 地質展開図 GD

《 農林土木工事 》

工事別図面名一覧 （3）

501 頭首工・ポンプ場	01 位置図 LC 02 平面図 PL 03 縦断図 PF 04 横断図 CS 05 一般図 GV 06 構造図 DS 07 基礎工詳細図 DF 08 付帯工詳細図 AS 09 配筋図 RB 10 土工図 EW 11 仮設図 TS

502 用水路（開水路）	01 位置図 LC 02 平面図 PL 03 縦断図 PF 04 標準断面図 SS 05 横断図 CS 06 主要構造物構造図 MF 07 付帯施設構造図 AS 08 復旧工図 RW 09 仮設図 TS 10 土工図 EW

503 水路トンネル	01 位置図 LC 02 平面図 PL 03 縦断図 PF 04 標準断面図 SS 05 横断図 CS 06 トンネル配筋図 RT 07 支保工加工図 TW 08 支保工詳細図 DT 09 矢板詳細図 DP 10 継目詳細図 DJ 11 付帯施設詳細図 AS 12 仮設図 TS 13 土工図 EW

504 排水路	01 位置図 LC 02 平面図 PL 03 縦断図 PF 04 標準断面図 SS 05 横断図 CS 06 主要構造物構造図 MF 07 付帯施設構造図 AS 08 復旧工図 RW 09 仮設図 TS 10 土工図 EW

505 パイプライン	01 位置図 LC 02 平面縦断図 PP 03 標準断面図 SS 04 横断図 CS 05 スラストブロック構造図 TB 06 付帯施設構造図 AS 07 異形管構造詳細図 DP 08 復旧工図 RW 09 仮設図 TS 10 管割図 PA 11 土工図 EW

506 農道	01 位置図 LC 02 平面図 PL 03 道路線形図 AR 04 縦断図 PF 05 標準断面図 SS 06 横断図 CS 07 土積図 MC 08 付帯施設構造図 AS 09 復旧工図 RW 10 仮設図 TS

507 農道橋	01 位置図 LC 02 一般図 GV 03 線形図 AL 04 構造一般図 GS 05 構造図 VS 06 仮設図 TS 07 土工図 EW

508 ほ場整備	01 位置図 LC 02 計画平面図 PL 03 付帯施設構造図 AS 04 仮設図 TS

509 地すべり	01 位置図 LC 02 平面図 PL 03 ボーリング工構造図 DB 04 杭打工構造図 PW 05 水路工構造図 CW 06 法面保護工構造図 SW 07 トンネル工構造図 TW 08 付帯施設構造図 AS 09 復旧工図 RW 10 仮設図 TS 11 土工図 EW

《 農林土木工事 》

工事別図面名一覧 （4）

510 ため池改修	01 位置図 LC 02 平面図 PL 03 縦断図 PF 04 標準断面図 SS 05 横断図 CS 06 洪水吐構造図 SP 07 取水施設構造図 IW 08 付帯施設構造図 AS 09 復旧工図 RW 10 仮設図 TS

511 地質	01 地質平面図 GP 02 地質縦断図 GF 03 地質断面図 GC 04 地質水平断面図 GH 05 地質斜め断面図 GT 06 地質展開図 GD

701 林道	01 位置図 LC 02 平面図 PL 03 縦断図 PF 04 横断図 CS 05 構造図 VS 06 展開図 DV 07 材料総括表 MT 08 定規図 PM 09 仮設図 TS 10 丈量図 EM

702 治山	01 位置図 LC 02 平面図 PL 03 工種配置図 TP 04 縦断図 PF 05 横断図 CS 06 構造図 VS 07 展開図 DV 08 材料総括表 MT 09 定規図 PM 10 仮設構造物詳細図 TS 11 丈量図 EM

703 地質	01 地質平面図 GP 02 地質縦断図 GF 03 地質断面図 GC 04 地質水平断面図 GH 05 地質斜め断面図 GT 06 地質展開図 GD